

第5号様式

松戸市協働事業報告書



平成24年 3月26日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市松戸新田 585

団体名 特定非営利活動法人

サイエンスシャワー

代表者氏名 ^{会長} 横田文男



平成23年3月25日付けで実施決定のあった松戸市協働事業に係る実績報告について、松戸市協働事業の実施に関する規則第13条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2
- 労力換算用作業日報 . . . 別紙3

活動状況報告書

1. 事業名称 キッズイノベーション事業
2. 実施主体
- 団体名： 特定非営利活動法人サイエンスシャワー
 - 事業担当課： 生涯学習本部企画管理室

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

理科実験の開発・企画を行い、「感動を与える理科実験・工作教室」が構築でき、活動の輪が広がった

■ 担当課の役割

教育委員会が進めている事業（学校を核にした地域コミュニティづくり事業）と連動し、学校・地域連携をする役割。

4. 事業の内容

日付	柿ノ木台小学校	六実中学校	馬橋北小学校	常盤平中学校
4月10日	チラシの企画及び作成			
4月11日 -15日	各学校校長と事業の打ち合わせ			
4月17日	チラシの印刷 ホスターの印刷			
4月18日 -28日	近隣の小学校20か所にチラシ、ポスターを配布			
5月7日	各学校で父兄説明会・申し込み			
5月14日			第1回実験 A：29名 B：29名、C：10名が参加	第1回実験 A：23名 B：13名、C：9名が参加
5月21日			第2回実験 A：29名 B：29名、C：10名が参加	第2回実験 A：23名 B：13名、C：9名が参加
5月28日	第1回実験 A：19名 B：23名、C：20名が参加	第1回実験 A：13名 B：7名、C：8名が参加		
6月4日	第2回実験 A：20名 B：23名、C：18名が参加	第2回実験 A：13名 B：7名、C：9名が参加		

6月11日			第3回実験 A:28 名 B:29名,C:10 名が参加	第3回実験 A:20名 B:13 名,C:9名が参加
6月18日			第4回実験 A:29 名 B:29名,C:10 名が参加	第4回実験 A:20名 B:13 名,C:9名が参加
6月25日	第3回実験 A:20名 B:24 名,C:17名が参加	第3回実験 A:13名 B:7 名,C:9名が参加		
7月2日	第4回実験 A:20名 B:24 名,C:17名が参加	第4回実験 A:13名 B:7 名,C:9名が参加		
7月9日			第5回実験 A:27 名 B:29名,C:9 名が参加	第5回実験 A:23名 B:13 名,C:9名が参加
7月16日			第6回実験 A:27 名 B:29名,C:10 名が参加	第6回実験 A:22名 B:13名,C: 9名が参加
7月23日	第5回実験 A:20名 B:24 名,C:15名が参加	第5回実験 A:13名 B:7 名,C:9名が参加		
7月30日			第7回実験 A:27 名 B:29名,C:11 名が参加	第7回実験 A:19名 B:13 名,C:9名が参加
8月27日	第6回実験 A:20名 B:24 名,C:17名が参加	第6回実験 A:13名 B:7 名,C:9名が参加		
9月3日	第7回実験 A:20名 B:24 名,C:17名が参加	第7回実験 A:13名 B:7 名,C:9名が参加		
9月10日			第8回実験 A:29 名 B:29名,C:10 名が参加	第8回実験 A:19名 B:13 名,C:9名が参加
9月17日			第9回実験 A:29 名 B:29名,C:10 名が参加	第9回実験 A:19名 B:13 名,C:9名が参加
9月24日	第8回実験 A:20名 B:24 名,C:15名が参加	第8回実験 A:13名 B:7 名,C:9名が参加		

10月1日	第9回実験 A : 20 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第9回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 9 名が参加		
10月8日			第10回実験 A : 29 名 B : 29 名, C : 10 名が参加	第10回実験 A : 19 名 B : 13 名, C : 9 名が参加
10月15日	第10回実験 A : 20 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第10回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 12 名が参加		
10月22日			第11回実験 A : 29 名 B : 29 名, C : 10 名が参加	第11回実験 A : 19 名 B : 13 名, C : 9 名が参加
10月29日	第11回実験 A : 20 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第11回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 9 名が参加		
11月5日	第12回実験 A : 20 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第12回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 12 名が参加		
11月12日			第12回実験 A : 29 名 B : 29 名, C : 10 名が参 加	第12回実験 A : 19 名 B : 13 名, C : 9 名が参加
11月19日	第13回実験 A : 20 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第13回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 12 名が参加		
11月26日			第13回実験 A : 29 名 B : 29 名, C : 10 名が参 加	第13回実験 A : 19 名 B : 13 名, C : 9 名が参加
12月3日	第14回実験 A : 20 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第14回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 9 名が参加		
12月10日			第14回実験 A : 29 名 B : 29 名, C : 10 名が参 加	第14回実験 A : 19 名 B : 13 名, C : 9 名が参加
12月17日	第15回実験 A : 22 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第15回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 9 名が参加		

12月24日			第15回実験 A : 27 名 B : 28 名, C : 10 名が参 加	第15回実験 A : 19 名 B : 13 名, C : 9 名が参加
1月7日	第16回実験 A : 20 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第16回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 12 名が参加		
1月14日			第16回実験 A : 27 名 B : 28 名, C : 10 名が参 加	第16回実験 A : 19 名 B : 13 名, C : 9 名が参加
1月21日	第17回実験 A : 20 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第17回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 12 名が参加		
1月28日			第17回実験 A : 27 名 B : 28 名, C : 10 名が参 加	第17回実験 A : 19 名 B : 13 名, C : 9 名が参加
2月4日	第18回実験 A : 20 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第18回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 12 名が参加		
2月11日			第18回実験 A : 27 名 B : 28 名, C : 10 名が参 加	第18回実験 A : 19 名 B : 13 名, C : 9 名が参加
2月18日	第19回実験 A : 20 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第19回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 12 名が参加		
2月25日			第19回実験 A : 27 名 B : 28 名, C : 10 名が参 加	第19回実験 A : 19 名 B : 13 名, C : 9 名が参加
3月3日	第20回実験 A : 20 名 B : 24 名, C : 15 名が参加	第20回実験 A : 10 名 B : 7 名, C : 12 名が参加		
3月10日			第20回実験 A : 27 名 B : 28 名, C : 10 名が参 加	第20回実験 A : 19 名 B : 13 名, C : 9 名が参加

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

① 子ども理科実験・理科工作の提供

「子どもたちを対象に、五感を働かせ、体を動かし「実験・実習・観察・創意工夫」する理科教室を開設し、子どもたちの科学に対する興味・関心を高めます。」については、ほぼ目標に達し、参加者のリタイヤもなく、充実した理科・工作を行うことが出来た。毎年年数を重ねるにしたがって、理論的に理科をしたいと児童が増えてきた。例えば化学変化した時の化学反応式を使って導きたい児童。また2年間理科実験をして、理科に対して興味を持ち、ますます理科が好きになった児童。母親が理科に対する関心態度に成長した我が子どもに驚いている話を聞きました。児童の好奇心が高まっている様子で、ロボットをパソコンで制御する実験を希望する児童が多くなってきました。

参加児童：

柿ノ木台小学校	1220名	(延べ数)
六実中学校	580名	(延べ数)
馬橋北小学校	1380名	(延べ数)
常盤平中学校	720名	(延べ数)
合計数	3900名	になりました。

(2) 取り組んだ課題の現状について

地域によって参加する児童のばらつきがあります。

6. 今後の事業展開

理科が好きな子どもを伸ばすために、探究的な理科実験（理科研究）を行うことが望ましい。近い将来は産・学・官を通してキッズイノベーションセンターを構築したいと思っています。世界の先頭に立って新しい知識の創造や技術革新を行う「科学技術創造立国」を構築して安心な社会を築くために前進します。

収支決算書

【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	会費	¥ 2,300,000	¥2,200,000	¥ -100,000	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 2,300,000	¥2,200,000	¥ -100,000	/
	労力換算額 (b)	¥ 910,000	¥ 588,000	¥ -322,000	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 207,800	¥ 207,800	¥ -	精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 2,507,800	¥2,407,800		/

【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	講師会謝礼金	¥ 1,128,000	¥1,440,000	¥ -312,000	
	広報チラシの印刷	¥ 130,000	¥ 27,000	¥ 103,000	
	ポスターの印刷	¥ 60,000	¥ 21,000	¥ 39,000	
	消耗費	¥ 900,000	¥ 727,237	¥ 172,763	
	通信費	¥ 18,400	¥ 3,340	¥ 15,060	
	児童傷害保険 (1年間)	¥ 92,000	¥ 92,620	¥ -620	
	スタッフ傷害保険	¥ 54,000	¥ 6,136	¥ 47,864	
	イベント保険	¥ 13,400	¥ 15,000	¥ -1,600	
		対象となる経費合計額 (e)	¥ 2,395,800	¥2,332,333	¥ 63,467
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 12,000	¥ 3,729	¥ 8,271	
	スタッフの交通費	¥ 100,000	¥ 40,000	¥ 60,000	
	雑費	¥ -	¥ 31,738	¥ -31,738	
	その他経費合計額 (f)	¥ 112,000	¥ 75,467	¥ 36,533	/
	事業費 (g) (e+f)	¥ 2,507,800	¥2,407,800	¥ 100,000	/

【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。

精算額 ¥ -

団体名 特定非営利活動法人 サイエンスシャワ
 代表者氏名 横田文男



収支内訳書

【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
会費	¥ 2,200,000	220人×@500円×20回	会員会費
自己資金合計額	¥ 2,200,000		
市負担金額	¥ 207,800		
収入合計額	¥ 2,407,800		

【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の交付対象経費	講師会謝礼金	¥ 1,440,000	講師20000円×40回×1人 助手8000×40回×2人	
	広報チラシの印刷	¥ 27,000		A43000部
	ポスターの印刷	¥ 21,000		A2300部
	消耗費	¥ 727,237		教材
	通信費	¥ 3,340		切手@80×20枚、ハガキ@50×30枚、@80×3ヤマトメール便
	児童傷害保険（1年間）	¥ 92,620		あいおいニッセイ同和損害保険会社 加入期平成23年4月25日～24年4月24日
	スタッフ傷害保険	¥ 6,136		あいおいニッセイ同和損害保険会社 加入期平成23年4月25日～24年4月24日
	イベント保険	¥ 15,000		あいおいニッセイ同和損害保険会社 加入期平成23年4月25日～24年4月24日
対象となる経費合計額	¥ 2,332,333			
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 3,729		御菓子代
	スタッフの交通費	¥ 40,000		
	雑費	¥ 31,738		
	その他経費合計額	¥ 75,467		
支出合計額	¥ 2,407,800			

松戸市協働事業報告書

平成24年3月30日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市八ヶ崎 8-21-17

団体名 まつど協働のまちづくり応援団

代表者氏名 会長 榎本 孝芳



平成23年3月25日付けで実施決定のあった松戸市協働事業に係る実績報告について、松戸市協働事業の実施に関する規則第13条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2
- 労力換算報作業日報 . . . 別紙3

活動状況報告書

1. 事業名称 市民と市職員がより良い関係を構築するための講座事業

2. 実施主体

■ 団体名：まつど協働のまちづくり応援団

■ 事業担当課：協働推進課

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

講座プログラムの作成

講座の実施、運営

アンケートの実施と分析、まとめ

プログラムのブラッシュアップ

■ 担当課の役割

行政情報・会場の提供

広報支援

関係各課との連絡・調整

4. 事業の内容

日付	作業内容
5月16日	第1期講座プログラム内容打ち合わせ
6月16日	第1期講座プログラム実施可否打ち合わせ（中止決定）
8月18日	第2期プログラム内容打ち合わせ 市民募集の仕方について
10月6日	第2期講座1日目 参加者（市民：15名、職員14名）
10月20日	第2期講座2日目 参加者（市民：11名、職員15名）
10月27日	第2期講座3日目 参加者（市民：11名、職員17名）
11月17日	第2期講座反省会及び第3期講座プログラム内容について
1月12日	第3期講座1日目 参加者（市民：8名、職員16名）
1月19日	第3期講座2日目 参加者（市民：8名、職員15名）
2月2日	第3期講座3日目 参加者（市民：10名、職員15名）

※なお、第1期講座については、震災の影響により研修開催を中止

【講座内容】

- 1日目 講師：石上瑠美子氏 講義&ディスカッション「お互いを知ろう」
- 2日目 講師：町山賢一氏 グループワーク「夢のあるまちづくりを企画してみよう」
- 3日目 講師：町山賢一氏 グループワーク「夢のあるまちづくりを企画してみよう②
条例編」

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

講座への参加者を確保する点では、職員、市民ともに15名以上の参加申込があった。

ただし、三日連続の参加となると出席割合が少なくなりました。この点は反省材料であり、今後は参加しやすい仕組みを考えていきたい。

講座の満足度としては、第2期ではある程度満足できた以上が88%、第3期では78%であった。アンケートのコメントでも、市民「おもしろいアイデアが沢山あってそれを持っている人も沢山いることが分かった」。職員「市民の方々と業務以外のお話をする機会をなかなか無いため、一緒に課題に取り組めて良かった」等の意見が出た。

市民活動助成制度、協働事業提案制度への提案につながるかは今後の状況しだいであるが、市民の参加者の中には地域で活動している人も多くいるので、講座終了後も参加者（市民・職員）の連携・交流が促進されると良いと思う。

(2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったことを記載してください。

本事業を通じて、市民と市職員との間に信頼関係が構築されるきっかけになったのではないかと考える。アンケート等からおおむね好評をいただいていること。また参加したいという声が多くあった点からもそのことを推測できる。また、このような市民と職員と一緒に講座を受ける機会というのはそれほど多くなく、その場を提供できたことに意味があったと思う。

ただし、まずは信頼関係の構築の一步として講座を開催してことで、市民活動助成制度や協働事業提案制度につながるかは不確定である。しかし、より市を身近に感じることでこのような事業を利用することにつながるのではと思った。

6. 今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開してゆきたいのかを記載してください。

本事業は今年で終了となるが、今年の講座をブラッシュアップし、市民と職員が交流する機会を提供していければと思う。信頼関係は、市民と職員が実際に交流をすることで徐々に育まれていくもので、1回の講座ではきっかけにすぎないので継続して行っていくことが重要だと感じた。

収支決算書

【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	会費	¥ 23,000	¥ 9,000	¥ -14,000	
	講座参加費	¥ 13,500	¥ 9,600	¥ -3,900	
	自己資金合計額 (a)	¥ 36,500	¥ 18,600	¥ -17,900	/
	労力換算額 (b)	¥ 222,000	¥ 68,000	¥ -154,000	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 148,500	¥ 85,163	¥ 63,337	精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 185,000	¥ 103,763		/

【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	消耗品費	¥ 30,000	¥ 7,350	¥ 22,650	
	報償費	¥ 135,000	¥ 90,000	¥ 45,000	
	食糧費	¥ 10,000	¥ 6,413	¥ 3,587	
		対象となる経費合計額 (e)	¥ 175,000	¥ 103,763	¥ 71,237
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 5,000		¥ 5,000	
	スタッフの交通費	¥ 5,000		¥ 5,000	
		¥ -		¥ -	
	その他経費合計額 (f)	¥ 10,000		¥ 10,000	/
	事業費 (g) (e+f)	¥ 185,000	¥ 103,763	¥ 81,237	/

【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。

精算額	¥	63,337
-----	---	--------

団体名 まつど協働のまちづくり応援団
 代表者氏名 榎本孝芳



収支内訳書

【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
会費より	¥ 9,000		
講座参加料	¥ 6,300	300円*21人	第二期参加者21名
講座参加料	¥ 3,300	300円*11人	第三期参加者11名
自己資金合計額	¥ 18,600		
市負担金額	¥ 85,163		
収入合計額	¥ 103,763		

【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）
負担金の交付対象経費	第二期消耗品	¥ 4,840	ネームカード・模造紙・付箋用紙・配布資料用紙
	第三期消耗品	¥ 2,510	ネームカード・模造紙・付箋用紙・配布資料用紙
	第二期報償費	¥ 45,000	講師名 石上瑠美子氏・町山賢一氏（2回）
	第三期報償費	¥ 45,000	講師名 石上瑠美子氏・町山賢一氏（2回）
	第二期食糧費	¥ 3,400	飲み物
	第三期食糧費	¥ 3,013	飲み物
	対象となる経費合計額	¥ 103,763	
その他経費	スタッフ飲食費用		
	スタッフの交通費		
	その他経費合計額		
支出合計額	¥ 103,763		



松戸市協働事業報告書

平成 24年 3月 28日

松戸市長 本郷谷 健次

住所(所在地) 松戸市常盤平 2-2-5
(竹内建築設計事務所)

団体名 常盤平地域活性隊

代表者氏名 榎本 孝芳



平成23年3月25日付けで実施決定のあった松戸市協働事業に係る実績報告について、松戸市協働事業の実施に関する規則第13条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙 1
- 領収書等 . . . 別紙 2
- 労力換算用作業日報 . . . 別紙 3

活動状況報告書

1. 事業名称 世代間交流の場・トキ塾

2. 実施主体

■ 団体名： 常盤平地域活性隊

■ 事業担当課： 常盤平支所

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

○ テーマの企画・実施・結果整理、講師の選定

○ 各種広報活動と参加者募集

○ 事業やアンケート調査などを通じて得た、住民の要望や志向の把握とフィードバック

■ 担当課の役割

○ 広報活動への協力

○ 講座会場確保の支援

○ 経費支援

○ 町内会・自治会などとの交流活動の支援

4. 事業の内容

トキ塾の開催

回数	テーマ&講師名	開催日 & 開催場所	参加人数
第1回	みんなでラクガキをしよう！！ 【講師】新井秀樹(たのたのじゅく)	【日時】4月10日(日曜日)14:00~16:00 【場所】トキサイサテライトスペース	10人
第2回	「松戸ケナフの会による紙すき体験」 【講師】石川 好隆(松戸ケナフの会)	【日時】4月24日(日曜日)11:00~13:00 【場所】トキサイサテライトスペース	14人
第3回	「スーパー紙トンボを作ろう」 【講師】伊藤 博(スーパー紙トンボの会)	【日時】5月14日(土曜日)10:00~12:00 【場所】トキサイ・サテライトスペース	16人
第4回	春の工作教室「タウンコーミング」！！ 【講師】梨子本 雅秋(常盤平中央商店街会)	【日時】5月22日(日曜日)10:00~15:00 【場所】トキサイサテライトスペース	11人
第5回	常盤平緑散策 【講師】流尾 哲也(緑花文化士)	【日時】6月11日(土曜日)10:00~12:30 【場所】トキサイサテライトスペース	9人

第6回	陶芸教室 【講師】松戸市陶芸クラブ	【日時】6月26日(日曜日)10:00~12:00 【場所】トキサイサテライトスペース	12人
第7回	陶芸教室 【講師】松戸市陶芸クラブ	【日時】7月24日(日曜日)10:00~12:00 【場所】トキサイサテライトスペース	14人
第8回	ドライアイスで夏をあそぼう 【講師】新井秀樹(たのたのじゅく)	【日時】7月24日(日曜日)13:00~15:00 【場所】トキサイサテライトスペース	9人
第9回	オリジナルうちわでエコライフ 【講師】新井秀樹(たのたのじゅく)	【日時】8月7日(日曜日)14:00~16:00 【場所】トキサイサテライトスペース	15人
第10回	コケ玉入りフラワーアレンジメント 【講師】福岡美津江(花の店「佐用」)	【日時】9月10日(土曜日)10:00~12:00 【場所】トキサイサテライトスペース	12人
第11回	和風盆栽アレンジメント 【講師】小泉壽章(土工房 風季)	【日時】10月8日(土曜日)10:00~12:00 【場所】トキサイサテライトスペース	11人
第12回	今時の婚活事情パートⅡ 【講師】榎本孝芳(青年のたまり場主宰)	【日時】10月23日(日曜日)18:00~20:00 【場所】トキサイサテライトスペース	16人
第13回	LPレコードを聞こう 【講師】工藤 誠(トニー工藤バンドドラマー)	【日時】11月12日(土曜日)10:00~12:00 【場所】トキサイサテライトスペース	18人
第14回	今時の婚活事情パートⅢ 【講師】浜野 延珠(占い師)	【日時】11月27日(日曜日)18:00~20:00 【場所】トキサイサテライトスペース	17人
第15回	「みんなでクリスマスを飾ろう」 【講師】新井秀樹(たのたのじゅく)	【日時】12月10日(土曜日)14:00~16:00 【場所】トキサイサテライトスペース	11人
第16回	被災者支援「編み物で心をつなげよう！」 【講師】戸丸栄子(編み物・手芸名人)	【日時】1月14日(土曜日)10:00~12:00 【場所】常盤平団地東集会場	12人
第17回	「常盤平2丁目の夕日」常盤平団地の輝き 【講師】榎本孝芳(テント小屋座長)	【日時】2月11日(土曜日)10:00~12:00 【場所】常盤平団地東集会場	13人
第18回	男の魚料理 【講師】工藤 誠(魚調理プロ)	【日時】3月10日(土曜日)10:00~12:00 【場所】常盤平団地東集会場	13人

トキ塾参加者 年代別 参加人数とパーセンテージ 参加総数233名 /

- | | | | | | |
|------------|-----|-----|------------|-----|-----|
| 1. 0才~12才 | 81名 | 35% | 2. 13才~22才 | 10名 | 4% |
| 3. 23才~40才 | 72名 | 31% | 4. 41才~60才 | 45名 | 19% |
| 5. 60才以上 | 25名 | 11% | | | |

別添集計資料有り

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

世代間交流の場・トキ塾を30回以上開催してきて、ついに常盤平団地自治会からお声がかかり、音楽の講座のお手伝いをするようになりました。参加された方々に大変喜ばれて、平成24年度は8回講座のお手伝いをするようになりました。そのような場でトキ塾のPRをさせていただいたり、常盤平地域活性隊の活動のご紹介をして新しい参加者の拡大に向けた活動が始まりました。自治会の広報誌に載せてもらう事や共催で音楽の講座を開催するなどさらに関係を深めて自治会や商店会・市民やNPOなど、常盤平の活性化に向けて新たな段階に進んできたことを実感しております。

このような活動を通して、平成25年度以降のトキ塾の自立にむけた、他団体との連携や新たな仲間づくりに、行政やURなどとの協力体制づくりなど、具体的な次のステップへの活動を進めてまいります。

(2) 取り組んだ課題の現状について

常盤平地域の課題、高齢化・独居の方の増加など、松戸市でもかなり問題となり、また大変重要な地域であることも同時にわかりました。多世代交流する環境を整えるためにも若い方や、子育て世代の方が増えるような活動をしていかなければなりません。そのような方々に関心を持って参加していただける講座を、少しずつではありますが増やしていけたと思います。自治会や商店会や市民・NPOなどと連携する仕組みを少しずつ醸成していく必要があります。自治会や商店会との連携からその糸口が見えて現状が少しずつではありますが好転してきたと思います。

6. 今後の事業展開

トキ塾を通して自治会との共催や、商店会との連携、市民や若い人たちにも興味を持っていただけるような活動を目指し、トキ塾がその枠を超えて多世代の方や、色々な立場の方が交流できるような、いくつかの場所や催しが、色々な方たちによって始まるような事になれば、当初の目標である住民同士が、必要な時に、いつでも、誰とでも、気軽に声を掛け合える、笑顔で挨拶ができる、そんなコミュニケーションのとれる風通しの良い地域づくりを実現できると思います。

収支決算書

【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	常盤平地域活性隊から	¥ 5,000	¥ 59,700	¥ 54,700	
	講座参加費	¥ 54,000	¥ 39,700	¥ -14,300	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 59,000	¥ 99,400	¥ 40,400	/
	労力換算額 (b)	¥ 390,000	¥ 398,000	¥ 8,000	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ -260,360	¥ -260,360	¥ -	精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 319,360	¥ 359,760		/

【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	1. 講座講師謝礼18回	¥ 180,000	¥ 219,700	¥ -39,700	
	2. 講座資料作成	¥ 5,400	¥ 5,700	¥ -300	
	3. 広報用チラシ作製	¥ 90,000	¥ 100,000	¥ -10,000	
	4. ポスター作製費 (大)	¥ 17,640	¥ 19,600	¥ -1,960	
	5. ポスター作製費 (中)	¥ 4,320	¥ 4,800	¥ -480	
	対象となる経費合計額 (e)	¥ 297,360	¥ 349,800	¥ -52,440	/
その他経費	スタッフ通信交通費	¥ 10,000	¥ -	¥ 10,000	
	会議費用	¥ 12,000	¥ -	¥ 12,000	
	施設電気代	¥ -	¥ 5,070	¥ -5,070	
	暖房代	¥ -	¥ 4,890	¥ -4,890	
	その他経費合計額 (f)	¥ 22,000	¥ 9,960	¥ 12,040	/
	事業費 (g) (e+f)	¥ 319,360	¥ 359,760	¥ -40,400	/

【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。

精算額	¥	0	-
-----	---	---	---

団体名
代表者氏名

常盤平地域活性隊

榎本孝孝



収支内訳書

【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
常盤平地域活性隊会費から	¥ 59,700		会員会費より
講座参加料	¥ 39,700	／ 添付資料A参照	
自己資金合計額	¥ 99,400	／	
市負担金額	¥ 260,360		
収入合計額	¥ 359,760	／	

【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の交付対象経費	3 講演会謝礼金	¥ 219,700	講師謝礼 1回 1万円×18人+参加費+材料費	
	2 講座資料作成	¥ 5,700	／ 添付資料B参照	
	4 広報用チラシ作製	¥ 100,000	／ 添付資料B参照	
	5 ポスター作製費（大）	¥ 19,600	／ 添付資料B参照	
	5 ポスター作製費（中）	¥ 4,800	／ 添付資料B参照	
	対象となる経費合計額	¥ 349,800	／	
その他経費		¥ -		
		¥ -		
	施設電気代	¥ 5,070	／ 添付資料9参照	トキサイと費用を半々
	暖房代	¥ 4,890	／ 添付資料9参照	
	その他経費合計額	¥ 9,960		
支出合計額	¥ 359,760	／		

松戸市協働事業報告書

平成24年 5月



松戸市長

住所(所在地) 〒271-0097 松戸市栗山542-2
団体名 特定非営利活動法人
人材パワーアップセンター
代表者氏名 理事長 岩橋秀高

平成23年3月25日付けで実施決定のあった松戸市協働事業に係る実績報告について、松戸市協働事業の実施に関する規則第13条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

- (1) 活動状況報告書
- (2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2
- 労力換算用作業日報 . . . 別紙3

活動状況報告書

1. 事業名称 楽しい健康体操Ⅱ推進活動事業
2. 実施主体
 - 団体名： 特定非営利活動法人 人材パワーアップセンター
 - 事業担当課： 保健福祉課
3. 事業を実施する上での役割分担
 - 団体の役割
高齢者運動指導員養成講座実施 同フォローアップ研修 マネージャーの養成
運動教室7か所の開設 各種連絡会議の開催
 - 担当課の役割
広報による講習会参加者募集 開設教室参加者募集 養成講座への講師派遣
講習会・フォローアップ会場・開設教室の提供・負担金の提供
4. 事業の内容

I 高齢者運動指導員養成事業

日付	作業内容
5月1日～12日	市の広報で募集開始/締め切り/選考抽選会/可否通知発送
5月19日	オリエンテーション 参加者 25人
5月21日	講座1 保健福祉センター 講師 福田史子氏 参加者 23人
5月26日	講座2 保健福祉センター 講師 松本ゆう子氏 参加者 24人
5月28日	講座3・4 保健福祉センター 講師 中村容一氏 参加者 25人
6月2日	講座5 保健福祉センター 講師 本多雅代氏 参加者 24人
6月9日	講座6 保健福祉センター 講師 松山三郎氏 参加者 29人
6月16日/9月29日	フォローアップ研修15回 保健福祉センター 講師松本ゆう子氏 参加者延 242人
7/22 ~ 8/16	特別研修(自主トレ)5回 新松戸市民センター講師 松本氏

II 「楽しい健康体操」教室普及推進事業

日付	作業内容
6月16日	マネージャー養成講座 保健福祉センター講師森永氏 参加 22人
7月21日	楽しく安全に 保健福祉センター 講師本多氏 参加 22人
8月11日	第1次チーム 5教室編成
8月18日	チームミーティングで役割決定
9月8日	ボランティア保険加入手続き 5教室 6か月 (10～3月分)
9月8日～30日	教室開設生徒募集チラシ作製・ポスティング実施 参加延 15人
9月29日	オープン決起大会 委嘱状交付 保健福祉センター 参加者 30人

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

高齢者運動指導員の養成

インストラクター13名を養成し、各教室 ほぼ2名配置できた。

マネージャーの養成

応募者は、6名（インストラクターとの併願者含む）9名を養成し、マネージャー各教室1～2名の配置ができた。

わくわくストレッチクラブ

三日月会館・風早会館・泉ヶ丘会館・六実市民センター・八ヶ崎市民センターの5か所に開設できた。

市場調査

地域別に専任担当を決め、調査活動を行い会場決定につなげることができた。

(2) 取り組んだ課題の現状について

高齢者運動指導員の養成

29名の応募で開始したインストラクター養成であったが、ボランティアでの運動指導の求めに、経験を持たず思いだけで参加した人が多く、応募の動機 個々の持つ条件の相異 長期の講習 責任や重圧 家庭の事情から続けられない方が出たことは残念だった。同時に確保できた教室の開催曜日とスタッフの都合のよい日のマッチングに苦慮した。しかし、高齢者運動指導員育成目標10名に対し、13名を確保できた。

マネージャーの養成

教室設営・運営 参加者への目配り・楽しく継続するための雰囲気・仲間づくりなど、マネージャーに求められる役割は大である。

各教室ともほぼ、求められる役割を果たしていることが理解できた。

各教室で 第1期終了時に実施したアンケートでもこれが裏付けられている。

わくわくストレッチクラブ7か所の開設

7か所の会場準備は出来たが、開催曜日とスタッフの都合の良い曜日の mismatch 会場の使用をめぐっての他団体の使用への配慮などから、見送ることとなり5か所で開催のこととした。

会場5か所中、3か所は町会会館であり、協働事業担当課の協力・スタッフは地域との連携を強め取り組んだが、知名度や事業の浸透の困難さも痛感した。

6. 今後の事業展開

松戸市内「いつでも・どこでも・だれでも」楽しい健康体操が出来るように、が私達の目標である。

今後もこの目標に沿って活動を継続していきたい。

併せて、インストラクター・マネージャーの資質向上を図り 教室間の交流や研修及び各種会議を通じ全体のレベルアップを図っていく。

常に利用者(参加者)の目線に立った教室運営を目指して「楽しい高齢者運動教室」「わくわくストレッチクラブ」は活動を推進していきたい。

平成23年度

収支決算書

【社会資源持ち寄り（収入）】

項 目		予算額	決算額	差引額	備 考
提案者	会員会費	420,000	445,265	25,265	
	寄付金	0	0	0	
	自己資金合計額 (a)	420,000	445,265	25,265	
	労力換算額 (b)	408,000	583,375		*別紙
市	負担金額 (c)	500,000	445,219	54,781	精算額
資金合計額(c) (a+c)		920,000	890,484		

【事業費の支出額（支出）】



項 目		予算額	決算額	差引額	備 考
負担金の交付対象経費	(1) 運動指導員養成講座講師謝礼	125,000	140,000	-15,000	
	(2) 講座使用テキスト原稿料	60,000	34,000	26,000	
	(3) 印刷製本費				
	・講座テキスト印刷	20,000	13,923	6,077	
	・ポスティングチラシ	4,000	2,564	1,436	
	(4) フォローアップ研修講師謝礼	30,000	40,000	-10,000	
	(5) ステップアップ研修講師謝礼	18,000	40,000	-22,000	
	(6) 運動教室講師謝礼	336,000	164,500	171,500	
	(7) 教室使用備品	77,000	83,567	-6,567	
	(8) ボランティア行事保険料	108,080	77,000	31,080	
	(9) 介護予防運動指導者養成講座	0	39,400	-39,400	
	(10) 実技指導会場使用料		4,481	-4,481	
	(11) 教室会場使用料	8,000	91,041	-83,041	
(12) 会議教室使用料		1,560	-1,560		
(13) 通信費・事務用品・雑費	49,920	65,459	-15,539		
対象となる経費合計額 (e)		836,000	797,495	38,505	
他の経費	市場調査・テキスト制作	56,000	7,500	48,500	
	交通費補助	28,000	84,000	-56,000	
	その他	0	1,489	-1,489	
	その他経費合計額 (f)	84,000	92,989	-8,989	
事業費 (g) (e + f)		920,000	890,484	29,516	

【負担金額(C)のチェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算費(b)欄を加えた額以下であること
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること
- 4 決算額は、予算額を超えないこと

精 算 額 ¥ 54,781

団体名 特定非営利活動法人
人材パワーアップセンター

代表者名  岩橋 秀高 
理 振

【 社会資源持ち寄り (収入) 】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
会員会費	445,265		参加会員会費
寄付金	0		
自己資金合計額	445,265		
市負担金額	445,219		
収入合計額	890,484		

【 事業費の支出額 】

項目	金額	支出内訳	説明事項など(用途など)
負 旦 金 の 交 付 対 象 経 費	(1) 運動指導員養成講座講師謝礼	140,000	
	(2) 講座使用テキスト原稿料	34,000	テキスト原稿
	(3) 印刷製本費		
	・講座テキスト印刷	13,923	講義資料・コピー代など
	・ポステイングチラシ	2,564	参加者募集用チラシ
	(4) フォローアップ研修講師謝礼	40,000	
	(5) ステップアップ研修講師謝礼	40,000	
	(6) 運動教室講師謝礼	164,500	
	(7) 教室使用備品	83,567	血圧計・CDラジカセなど
	(8) ボランティア行事保険料	77,000	(社)全国社会福祉協議会
	(9) 介護予防運動指導者養成講座	39,400	
	(10) 実技指導会場使用料	4,481	指導員実技指導会場使用料
	(11) 教室会場使用料	91,041	会館使用料
(12) 会議会場使用料	1,560		
(13) 通信費・事務用品・雑費	65,459	資料コピー・名札ファイルなど	
対象となる経費合計額	797,495		
そ の 他 経 費	市場調査・テキスト制作	7,500	スタッフ活動費一部補助
	交通費補助	84,000	スタッフ活動交通費補助
	その他	1,489	
	その他経費合計額	92,989	
支出合計額	890,484		

松戸市協働事業報告書

平成24年 3月30日



松戸市長

住所(所在地) 松戸市六実2-52-10

団体名 昔のあそびと遊ぼう会

代表者氏名 白石 彌登美



平成23年3月25日付けで実施決定のあった松戸市協働事業に係る実績報告について、松戸市協働事業の実施に関する規則第13条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2
- 労力換算用作業日報 . . . 別紙3

活動状況報告書

1. 事業名称 「昔のあそびとわらべうた事業」

2. 実施団体

- 団体名：「昔のあそびと遊ぼう会」
- 事業担当課：「松戸市六実支所」

3. 事業を実施する上での役割分担

- 団体の役割
 - ・「昔あそび、わらべうた、わらべうたあそび」の技術の提供。
 - ・同上の指導要員の提供。
 - ・同上のイベント実施する際の企画・運営。
- 担当課の役割
 - ・支所で管理している公益の場所の提供・調整。
 - ・広報等の掲載。
 - ・支所管内のイベント情報の提供。

4. 事業の内容

I 六実桜まつり（前年度より準備していたが、東日本大震災により自粛）

6月4日	実行委員による桜まつり反省会 H23年4月2日、3日に実施予定でしたが、中止になりました。 (震災により自粛)
------	---

II けん玉・カプラ講習会の実施（5月7日（土）開催）

4月8日	企画打合せ
4月9日	チラシ企画打合せ
4月9日～4月14日	チラシ作成手直し、印刷
4月11日	定例会にて企画内容及び指導する人を決定
4月14日～4月20日	チラシの配布(小学校、六実六高台地区掲示板、マンション他)
4月22日	賞品等の購入
4月25日	けん玉代金支払い
5月1日	招へい講師を含め、最終打合せ
5月7日	けん玉・カプラ講習会の実施、六実市民センター、講師：中村幸之助氏 来場者20人

II けん玉・カプラ講習会の実施（7月2日（土）開催）

5月9日～5月11日	協働事業ポスター作成、打合せ
5月12日～5月22日	広報まつど7月1日号に掲載準備、と掲載依頼
6月4日	定例会にて開催の企画内容説明、チラシ配布の準備
6月7日～6月10日	チラシ作成
6月11日～6月16日	チラシ配布(支所、掲示板、JA、郵便局、小学校)、チラシ掲示
7月1日	けん玉・カプラ講習会の最終打合せ
7月2日	けん玉・カプラ講習会の実施、六実市民センター、講師：中村幸之助氏 来場者18人

Ⅲ こま講習会の実施（8月6日（土）開催）

6月4日	全員に、こま講習会の説明、チラシの配布依頼
7月4日～7月8日	チラシ内容打合せ、作成
7月10日	チラシ印刷
7月4日～7月8日	チラシ配布、掲示（支所、小学校、掲示板、JA他）
8月6日	こま講習会の実施、六実市民センター、講師：久我良三氏、来場者30名

Ⅳ 六実っ子まつり共同実施（10月30日（日）開催）

5月28日	六実っ子まつり総会で企画
7月2日	推進委員にて進捗確認、実施内容打合せ
9月7日	推進委員にて進捗確認
9月10日	定例会にて六実っ子まつりの準備、実施内容徹底
9月20日～9月23日	チラシ確認
10月22日	推進委員にて進捗確認
10月30日	六実っ子まつりの実施、六実市民センター、 指導：メンバー14名全員で行う、来場者100名超
10月30日	反省会
H24年1月15日	次年度に向けて検討

Ⅴ こま・ちよんがけこま講習会の実施（12月3日（土）開催）

11月5日	定例会にて講習会の準備、実施内容徹底
11月9日	こま指導、指導員12人、場所高木第2小学校、2年生全員
11月1日～11月4日	講師手配、内容調整（メンバーと講師）
12月3日	こま・ちよんがけこま講習会の実施、六実小学校、講師：久我良三氏、 来場者 200名超（数え切れなかった）

Ⅵ 昔あそび大会の実施（平成24年2月4日（土）開催）

12月4日	昔あそび大会内容の検討
12月5日～12月8日	チラシ検討、作成
12月13日	チラシ印刷
1月7日	定例会にて企画内容担当割り振り
1月13日	昔あそび大会の事前確認として、正月あそび実施
1月22日	正月あそびを地域の町内会に披露、6丁目会館、 メンバーが指導、参加者45名
1月31日	わらべうたを六実第2小学校で行う
2月4日	昔あそび大会の実施、六実市民センター、 指導員はメンバー14名、来場者26名

Ⅶ キャラバン見本市六実を主動で実施（H24年2月11日（土）開催）

12月13日	キャラバン見本市展示内容の打合せ、六実市民センター
1月10日	チラシ受領、矢切
1月11日～1月13日	チラシ配布（町会掲示板、支所、世帯配布分は町会に依頼 小学校（3校）、中学校、社会福祉協議会他
1月20日～2月8日	掲示ポスター企画、デザイン、作成実施
2月11日	キャラバン見本市六実の協働実施、六実市民センター、 メンバー13名、来場者105名

Ⅷ 企画になく実施したもの(地域の子供の健全育成・地域の活性化を図れる)

①スバル書店駐車場での昔あそび大会

6月25日	スバル書店駐車場で実施、チラシは配布せず、指導員7名。 来場者12名
-------	---------------------------------------

② 六二っこクラブ(六実第二小学校内)で昔あそび実施

7月1日	希望遊び内容、聞き取り打ち合せ
7月12日	昔あそび実施、六実第二小学校内、指導員8名、 学童参加者16名

③ 五香児童館で昔あそび実施

7月15日	内容打ち合せ
7月25日	昔あそび実施、五香児童館、指導員9名、来場20名

5. 事業成果について

○(1)事業目的の達成の達成について

- ・昔あそびに参加する人は、徐々にではあるが増えつつあるが当初目標としていた数字は達成できなかった。その要因は
 - ①キャラバン見本市六実の開催は例年3月の予定が早まり2月11日になり2月4日に予定していた「昔あそび大会」の準備不十分であった。
 - ②子供に来てみたい、遊んでみたいと思わせるものが不足している。
 - ③参加している子供や大人の意見は必ずと言っていいほど、又来たい、遊びたいとアンケートにでている。
- ・アンケート実施した結果は満足できる数字となっておりますが、会場にこれない、来ない人たちの意見が重要であるのかもしれない。
次年度は、小学校に訪問時に意見を聞いてみたいと思っています。

- 会員・指導員の増員についても不十分な結果です。H24年3月現在17名となっております。新しく入会する人の数より退会した数の方が多い結果となりました。
退会した方々をみると、高齢により、出来なくなったかた、働けるようになり活動ができなくなった方1名づつで、新しく入られた方も2名の状況です。
今年は何とかしたいと思います。
又会則の変更も考えたいと思います。会費は学生無料として若い人の参加を期待したいと思います。

(2)取り組んだ課題の現状について

- ・子供達から、朝のあいさつ、帰りの挨拶が聞け活動しているものにとっては大変うれしい気持ちでいっぱいです。子供たちがお父さんお母さんと一緒にきているケースやお爺ちゃんやお婆ちゃんと一緒にきて遊んでいる姿をみると、やっていることは間違っていないと思います。
しかしながらまだ多くの人と一緒にやるところまでには至っていない。地道に活動していくことが必要だとも思います。

6. 今後の事業展開

・事業に参加してくれた方々は、又来たい、楽しかったとの意見が94%、残りは6%は普通という結果でした。年齢は小学生が47%、小学生未満26%、31才~50才の親が21%、51歳以上が5%残りが13歳から20歳までが1%です。

残念ながら母数が40人のアンケート結果です。少ないが直接の声がきけて今後多くのひとの意見をきいて改善していきたいと思っています。

また次年度は、出張事業を企画したり、人を集めやすい他のイベントとコラボして進めることを企画したいと思います。

H23年度にて準備できた遊び道具を有意義に活用し地域の活性化を進めたいと思います。

収支決算報告書

【社会資源持ち帰り(収入)】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案書	会費	¥61,200	¥79,160	¥17,960	
	寄付金	¥10,000	¥18,837	¥8,837	
	参加費	¥10,000	¥12,140	¥2,140	
	自己資金合計(a)	¥81,200	¥110,137	¥28,937	
	労力換算額(b)	¥492,500	¥548,500	¥56,000	
市	負担額(c)	¥253,800	¥226,585	¥-27,215	(e)*0.9=226,585
	資金合計額(d) (a+c)	¥335,000	¥336,722	¥1,722	

【事業費の支出額(支出)】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	1. 報償費(講師代)	¥80,000	¥80,000	¥0	
	2. 印刷製本代	¥90,000	¥68,694	¥21,306	
	3. 材料費	¥130,000	¥100,268	¥29,732	
	4. 保険料(行事保険)	¥15,000	¥2,800	¥12,200	
	対象となる経費の合計(e)	¥315,000	¥251,762	¥63,238	
その他経費	スタッフ飲食費用	¥10,000	¥10,207	¥-207	
	スタッフ交通費	¥10,000	¥8,520	¥1,480	
	事務用品費	¥0	¥4,374	¥-4,374	
	その他報償費六実太鼓	¥0	¥5,000		
	その他道具代	¥0	¥46,143		
	その他講習会賞品	¥0	¥10,716		
	その他経費合計(f)	20000	¥84,960	¥-64,960	
	事業費(g) (e+f)	¥335,000	¥336,722	¥-1,722	

【負担金額(C)チェック項目】

- 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 対象経費については、必ず証拠書類があること。

精算額

¥27,215

団体名

昔のあそびと遊ぼう会

代表者氏名

白石 彌登美



収支内訳書

【社会資源持ち帰り(収入)】

項目	金額	収入内訳	説明事項
会費	¥79,160	14人*3600円=50400円 10人*300円=3000円 14人*1840円=25760円	年間会員14名 飛び入り参加10名 特別会費14名
寄付金	¥18,837	・10000円 ・8,768円 ・69円	3件
参加費	¥12,140	・49個*200円=9800円 ・117枚*20円=2340円	こま:49個 メンコ:117枚
自己資金合計(a)	¥110,137		
市負担額	¥226,585	(対象経費の90%(251,762*0.9=226,585円))	
収入合計額	¥336,722		

【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項	
負担金の交付対象経費	1. 報償費(講師代)	¥80,000	4回*20,000円=80000円	けん玉講師2回,こま講師2回
	2. 印刷製本代	¥68,694		
	パンフレット印刷代		13,650円	1000部(一括金額)
	PRポスター印刷代		5,250円	協働事業PRポスター 1枚
	PCインク・PC印刷代		24,434円	5/7:500枚 7/2:500枚 8/6:500枚 10/30: 2000枚 12/3:500枚
	コピー代		20部*50円=1,000円	2/4資料
	チラシ印刷代(発注分)		24,360円	2/4 3000部(一括金額)
	3. 材料費	¥100,268		
	・カプラ		85,285円	9箱
	・メンコ		6,630円	丸:50個、角:36個
	・こま		7,382円	プリント:36、その他こま5種
	・折り紙、綾取り紐他		971円	
	4. 保険料(行事保険)	¥2,800		
	対象となる経費の合計	¥251,762		
その他経費	スタッフ飲食費用	¥10,207		
	スタッフ交通費	¥8,520		
	事務用品費	¥4,374		
	その他報償費六実太鼓	¥5,000		
	その他道具代	¥46,143		
	①竹馬		6,498円	2セット
	②羽子板及び羽根		8,662円	15個
	③輪投げ		1,559円	1セット
	④ヨヨー		3,309円	7個
	⑤ゴムまり		26,115円	20個
	その他講習会賞品	¥10,716		
その他経費合計	¥84,960			
支出合計	¥336,722			

松戸市協働事業報告書

平成24年 3月



松戸市長 様

住所(所在地) 松戸市常盤平2丁目9番地の5

長谷川ビル 301

団体名 特定非営利活動法人こばてい

ー子ども参画イニシアティブ

代表者氏名 理事長 小熊 浩典



平成23年3月25日付けで実施決定のあった松戸市協働事業に係る実績報告について、松戸市協働事業の実施に関する規則第13条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2
- 労力換算用作業日報 . . . 別紙3

活動状況報告書

1. 事業名称 ユースボランティア育成を通じた子ども地域活動支援モデル事業

2. 実施主体

■ 団体名： 特定非営利活動法人こばてい
ー子ども参画イニシアティブ

■ 事業担当課： 青少年課

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

事業全体のマネジメント

ユースボランティアの育成

単位子ども会へのヒアリング

単位子ども会とのモデル事業の実施(虹の街子ども会、小金原地区子ども会連合会)

企画会議などの運営

■ 担当課の役割

松戸市子ども会育成会連絡協議会との本事業に関する事務局としての調整・情報共有

単位子ども会とのマッチングイベントを実施する際の呼びかけ

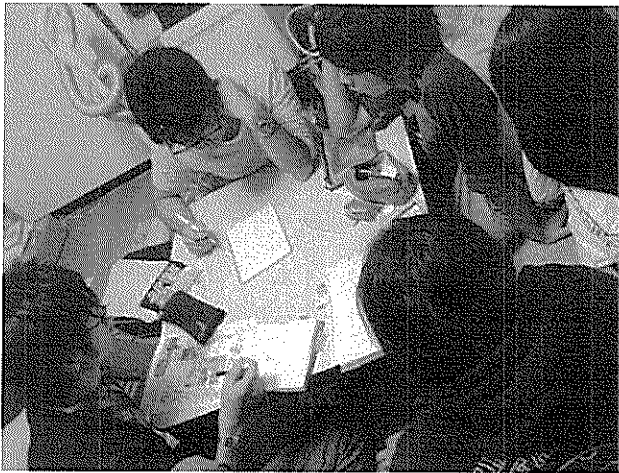
松戸市施策上での位置づけ・展開の検討

4. 事業の内容

I ユースボランティアの育成

日付	作業内容
平成 23 年 6 月 12 日	新規ユースボランティアオリエンテーション(虹の街進捗共有) …紹介(人づて)ベースのユースボランティア受入
9 月 10 日	ボランティア講座募集(流通経済大学→青少年会館)
9 月 24 日	ユースボランティア講座①「身の回りの遊びを大人数にアレンジして考える」+企画会議 青少年会館 講師 松井 奏 氏 参加者 16 人(うち、前年度参加者 4 名)
10 月 8 日	ユースボランティア講座②「事前準備…タイムテーブルから資料準備」+企画会議 青少年会館 講師 松井 奏 氏 参加者 15 人(うち、前年度参加者 5 名)
10 月 9 日	イベント企画(子どもフェスティバル)資料準備
11 月 3 日	ミニイベントでボランティア活動実践+振り返り
11 月 13 日	ユースボランティアによるイベント開催 (「だいすき松戸!子どもフェスティバル」当日参加者 600 名)
11 月 19 日	雨天中止/あそぼう会(ユースボランティアによる公園遊び)

11月26日	イベント（子どもフェスティバル）振り返り
12月11日	イベント資材整理



Ⅱ 子ども会との協働・働きかけ

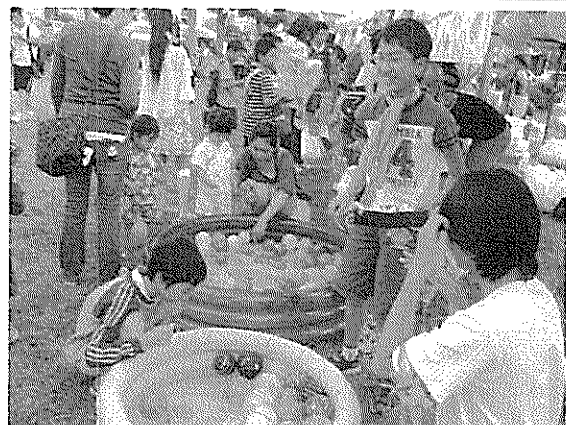
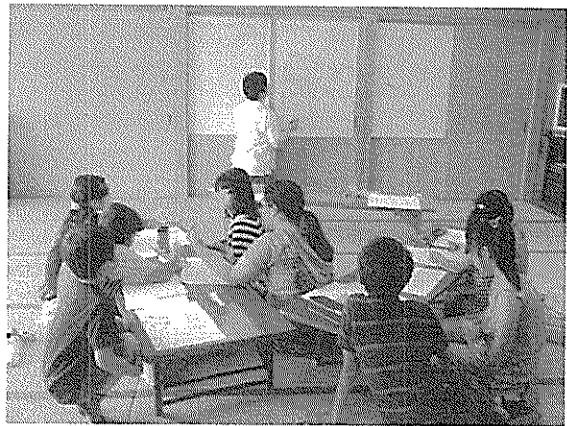
日付	作業内容
平成 23 年 4月28日	担当課打ち合わせ 前年度ヒアリングをした虹の街子ども会からのコンタクトを共有
5月7日	事業企画会議
6月4日～7月18日	虹の街子ども会活動（計5回）
6月12日	新規ユースボランティアオリエンテーション（進捗共有）
6月18日	柏・買い出し先商店下見
7月22日～23日	虹の街町会夏祭りへ出店（2日間）
9月15日	協働事業 三者会議
平成 24 年 2月4日	根木内地区子ども会連合会 「卒業生を祝う会+春のお楽しみ会」打診→事前打ち合わせ
2月18日	あそぼう会（公園遊び）にてレク活動実践 →根木内企画会議
3月3日	根木内地区子ども会連合会「卒業生を祝う会+春のお楽しみ会」

3月4日	イベント内容を盛り込んだ編集会議
3月8日	協働事業 三者会議

**【事例1】 地域イベント（夏祭り）へ、ユースボランティアと子どもたちが共に出店
（協働団体＝虹の街子ども会）**

虹の街子ども会の小学生会員（2年生～6年生）と共に、毎年役員家族が中心となって負担が大きかった夏祭りへの出店（財政活動的意味合いも有り）を、どんなお店を出すか、何を売るかから一緒になって考え、5日の準備期間を経て、2日間開催。

地域の小学生とユースボランティアが接点を持つことで、従来の子ども会役員への負担を減らしつつ、子どもたち・ユースボランティア・地域各々にとって価値のある活動を生み出すことができた。



**【事例2】 子ども会の定例イベントをユースボランティアの個性を生かして活性化
（協働団体＝小金原地区子ども会連合会）**

昨年度に引き続き、「卒業生を送る会＋春のお楽しみ会」を開催。小学生の子どもたちと遊びの中で「本気」で向き合えるユースボランティアが参加し、総勢70名で卒業生・送る側双方に思い出を残すことが出来た。

ユースボランティアが媒介となることで、なかなか子ども会役員からはプログラム中に巻き込みにくい、はじめて参加する／稀に参加する保護者を共に遊びに誘いかけることで、親子で地域で活動する意義を体感してもらうことができた。



5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

【達成できた内容】

対象	指標
ユースボランティア	20人を目標として、広報・声かけをした結果、高校生8名、大学生10名がボランティア講座を受け、子どもたちとの地域活動への参画につながった。
単位子ども会	モデル事業として2地域（単位）でイベントを協働で実施できた。なかなか子ども会側との接点を持つことが出来ず目標数には達しなかったが、中期的な活動づくりのモデルケースを構築できた。
小学生（子ども）	2地域共に、役員・保護者の負担が減ったという声と共に、子どもたちとのユースボランティアの活動の様子に対して高評価を得た。

【満足のいく結果が残せなかった内容】

対象	指標
ユースボランティア	子ども会とのマッチングイベントの調整がつかなかったため、企画アピールの機会につながらなかった。 一方、一部単位子ども会と共に活動計画を立てる兆しは生まれているため、本事業による成果（2年度活動した実績含め）はあったと言える。
小学生（子ども）	小金原地区卒業生を送る会では、地区と調整の結果、一般呼びかけの範囲として、子ども会会員から本人・家族を通じて誘いかけられるよう配布チラシ及びメールによる申込先を当団体側で用意したが、参加にはつながらなかった。
子ども会ジュニアリーダー	調整がつかなかったため、連携の実現には至らなかった

事業の成果目標とした；

- 子ども会でのイベント時に、異年齢交流が生まれ、子どもたちの地域体験活動が充実すること

- 一過性のイベントを通じて、交流・体験活動の価値が理解され、継続的な参加の機会となること
- 異年齢交流の中で、ユースボランティアが地域の取組に参画し、自信を身につけること
- 地域活動を支えている保護者・大人の負担感が軽減されること

の4点に関して、上記の結果を踏まえ、総合的に達成することができた。

(2) 取り組んだ課題の現状について

本事業にあたって現状に関する問題提起であった、“地域が「青少年の自立しにくい」かつ「社会性を獲得しづらい」環境となってしまう”現象自体は、(資源投入量に応じて)ゆるやかにしか変動しないと言える。

しかし、本年度の事業を通じて、いくつか解決への糸口を生み出すことができた。

● **■小学生とユースボランティアが中期的に関わるプログラムによって「社会」が出来る**

虹の街子ども会における夏祭り出店では、子ども会のような地域的基盤(『ご近所』の知合い)にユースボランティアが何週間にも渡ってひとつの活動を作り上げた。この活動の中で、互いの名前を覚え、役割を分担できる関係性=社会性を子ども~20代双方が獲得することができ、地域にとっても新たな価値が生まれることが実証された。

● **■地域と共にイベントを作ることで、顔の見える信頼を若者と地域の大人の間に構築できる**

小金原地区での活動は2年目を迎え、共にイベントをつくり子どもたちや保護者へこうした活動の価値を認識する地域の関係者が増えた。その中から、具体的な連携方策(年間での地域での活動への期待)を模索したいという声があがっており、小学生・ユースボランティア双方共に価値ある活動を、NPOとして検討し応えていきたいと考えている。

● 一方で、こうした活動を実現するためのコミュニケーション活動、魅力的なプログラムづくりへのコストはなかなか認識されることがなく、今までの公的な枠組みだけでは負担に足りあわないという課題は残っている。ユースボランティアをどうプロデュースするか、またこれまでである活動とすり合わせ・整合性を取りつつ、地域の子どもの活動の立ち枯れを防ぐためにどのように仕組みを変えるか、その点に本事業の成果が役立てば幸いである。

6. 今後の事業展開

ユースボランティアの育成自体は団体の自主事業としても推進しているため、青少年課（松戸市行政）との関係性について、以下2点を推進していきたい。

■子ども会へのプログラム立案支援

子ども会育成会の保護者同士が、他の子ども会の活動（特に他地域の）を知る機会はほとんどないため、現状の課題を紐解きつつ、「本当に地域の子どもたちが享受・創出すべき活動とはなにか」から考えるワークショップの開催を提案している。

■子ども会活動への参画

単位子ども会の中には、保護者の見守りの担い手が挙げられず、町会や自治会で活動を引継いででも続けたい、という地域がある。こうした地域の大人（主にシニア）と連携し、子ども会自体の運営を担う、もしくはユースボランティア自身がつくる子ども会、といった可能性を、地域へのヒアリングをしながら模索している。

収支決算書

【社会資源持ち寄り（収入）】

項目		予算額	決算額	差引額	備考
提案者	団体拠出金	¥ 59,200	¥ 69,215	¥ 10,015	
	自己資金合計額 (a)	¥ 59,200	¥ 69,215	¥ 10,015	
	労力換算額 (b)	¥ 184,000	¥ 377,000	¥ 193,000	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 172,800	¥ 130,987	¥ 41,813	精算額
資金合計額 (d) (a+c)		¥ 232,000	¥ 200,202		

【事業費の支出額（支出）】

項目		予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	¥ 40,000	¥ 20,000	内部講師に変更し減額
	印刷製本費	¥ 60,000	¥ 42,000	¥ 18,000	
	消耗品費	¥ 48,000	¥ 42,486	¥ 5,514	
	通信費	¥ 16,000	¥ 14,760	¥ 1,240	
	保険料	¥ 8,000	¥ 6,296	¥ 1,704	按分積算根拠別添
	対象となる経費合計額 (e)		¥ 192,000	¥ 145,542	¥ 46,458
その他経費	スタッフの交通費	¥ 40,000	¥ 54,660	¥ -14,660	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (f)	¥ 40,000	¥ 54,660	¥ -14,660	
事業費 (g) (e+f)		¥ 232,000	¥ 200,202	¥ 31,798	

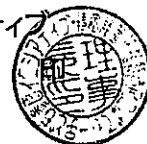
【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内 ¥ 130,987.8
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。

精算額	¥	41,813
-----	---	--------

NPO法人こばてい

団体名 - 子ども参画イニシアティブ
 代表者氏名 理事長 小熊 浩典



収支内訳書

【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
団体拠出金	¥ 69,215	会費・寄付金等	
自己資金合計額	¥ 69,215		
市負担金額	¥ 130,987		
収入合計額	¥ 200,202		

【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の交付対象経費	1 報償費	¥40,000	20,000円×2回	ユースボランティア講座(内部講師に変更)
	2 印刷製本費	¥42,000		A5×8ページ、パンフレット300部
	3 消耗品費	¥42,486		プリンタインク、用紙、ガムテープ等、使用相当分を購入
	4 通信費	¥14,760	¥120×123箇所	送付先リスト別紙
	5 保険料	¥6,296	NPO総合保険 本事業分	ボランティアに係る傷害・賠償保険
	対象となる経費合計額	¥ 145,542		
その他経費	スタッフの交通費	¥ 54,660		
	その他経費合計額	¥ 54,660		
支出合計額	¥ 200,202			

松戸市協働事業報告書

平成 24年 3月 21日

松戸市長 本郷谷 健次様

住所(所在地)松戸市樋野口 813 クレド松戸 104

団体名 特定非営利活動法人子育て支援ぽこら

理事長

代表者氏名 野村由香



平成23年3月25日付けで実施決定のあった松戸市協働事業に係る実績報告について、松戸市協働事業の実施に関する規則第13条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2
- 労力換算用作業日報 . . . 別紙3

活動状況報告書

1. 事業名称 パパ手帳を使った男性への育児支援事業
2. 実施主体
 - 団体名： 特定非営利活動法人子育て支援ぽこら
 - 事業担当課： 女性センター
3. 事業を実施する上での役割分担
 - 団体の役割
 - 手帳普及のための広報活動とその際使用するパンフレットの作成
 - 手帳に関するアンケートの実施
 - 手帳普及のための講座の開催
 - 担当課の役割
 - 手帳の信頼性と公共性
 - 手帳を普及する場所の提供や助言
 - 男女共同参画の視点をもった情報の提供と助言
 - 講座内容の助言
4. 事業の内容
 - ※ 実施した事業内容について、事業毎に整理した上で記載してください。

I 広報活動

日付	作業内容
4月21日	新松戸E子どもの森ほっとルーム
5月10日	子すずめ子育て支援センター
5月11日	チェリッシュサポートシステム
7月16日	中央保健センター パパママ学級
9月17日	小金保健センター
10月2日	松戸まつり（広報とアンケートの実施）
10月8日	常盤平市民センター パパママ学級
10月15日	中央保健センター パパママ学級
10月29日	小金保健センター
11月6日	イクメン講座プラス ベビーヨーガ
11月12日	常盤平保健センター
11月15日	女性センター ゆうまつどフェスタ 2011
11月19日	中央保健センター
11月26日	小金保健センター
2月26日	ふれあい22 子育てフェスティバル

II ボランティア定例会・通信準備・その他事務作業

月に1回(水曜日)を基本に定例会のなかで、広報活動報告や通信やアンケートの準備をおこなった。

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した成果目標が、どの程度達成されたのかを記載してください。

手帳の配布と広報は今年度事業の大きな目標であったが、目標は十分に達成できた。目標は500部配布だったが、印刷した1,000部は殆んど配布しながら広報ができた。モニターも目標どおり、依頼することができ、感想や意見をもらえた。この様子はパパ手帳通信特別号で紹介できた。

○アンケートは松戸まつり、ゆうまつどフェスタ、子育てフェスティバルで実施できた。アンケート結果では、手帳があれば是非使いたいという意見が多かった。(8割以上)保健センターや子育て支援センター、他の課の子育てに関するところにも手帳を見てもらい、感想、意見をもらうことができた。次年度も継続していきたい。

(2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったことを記載してください。

パートナーである母親の妊娠中から子育てスタートの時点での父親の気付きには手帳というツールがプラスになっていると思われる。

○今年度に関して言えば、震災の影響で育児に気持ちがあっても仕事の状態が厳しくなり、父親がなかなか家庭第一に行動することが難しいようだった。落ち着くにはしばらく時間を要する。

このためか、また母親が遠慮して父親に助けを求めなくなって子どもに関することはすべて母親がやらねばと思いこんでいる事例がめだった。

父親への育児支援の現状は容易には変えることはできないが、手帳を手にとり、使ってみるにより、気付きがあることが大切である。

6. 今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開してゆきたいのかを記載してください。

父親たちが育児などのかかわりに気付き、地元で親たちのネットワークを作り上げていくには、時間がかかる。

せっかく、子育てのスタートをきった父親たちに少しでも親同士のつながりを広げてもらい

たい。

震災を経て、地元のつながりの必要性は理解が得やすいと思われる。イクメン講座や手帳を増刷する際に、盛り込んでいきたい。

また手帳の配布場所をもっと広げていきたい。

手帳が父親としての気付きや、行動につながるように今後もつとめたい。

松戸市には、母親向けだけでなく、多様な育児支援があることも広報していきたい。

収支決算書

【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	法人会費	¥ 35,000	¥ 25,000	¥ -10,000	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 35,000	¥ 25,000	¥ -10,000	
	労力換算額 (b)	¥ 181,000	¥ 181,000		※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 134,850	¥ 75,200	¥ 59,650	精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 169,850	¥ 100,200	¥ 69,650	

【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	講座講師料	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ -	
	ボランティア活動保険	¥ 4,000	¥ -	¥ 4,000	
	消耗品	¥ 30,000	¥ 3,199	¥ 26,801	
	リーフレット印刷代	¥ 80,000	¥ 40,157	¥ 39,843	
	保育料	¥ 21,250	¥ 21,250	¥ -	
	対象となる経費合計額 (e)	¥ 155,250	¥ 84,606	¥ 70,644	
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 2,000	¥ 1,454	¥ 546	
	スタッフの交通費	¥ 12,600	¥ 10,080	¥ 2,520	
	ボランティア活動保険	¥ -	¥ 2,800	¥ -2,800	
	振込み手数料	¥ -	¥ 105	¥ -105	
	雑費	¥ -	¥ 1,155	¥ -1,155	
	その他経費合計額 (f)	¥ 14,600	¥ 15,594	¥ -994	
	事業費 (g) (e+f)	¥ 169,850	¥ 100,200	¥ 69,650	

【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 4 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	59,650
-----	---	--------

団体名

特定非営利活動法人子育て支援ぽこら

代表者氏名

理事長
野村 由香

野村 由香



収支内訳書

【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
法人会費	¥ 25,000	2,500円*10人	会員会費
自己資金合計額	¥ 25,000		
市負担金額	¥ 75,200		
収入合計額	¥ 100,200		

【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の交付対象経費	1 講座講師料	¥ 20,000	10,000円*2人	イクメン講座プラスベビーヨガ講師料
	2 消耗品	¥ 3,199	①609円+②1,960円	①ノート②ネームシート
			③420円+④210円	③ハサミ④封筒
	3 リーフレット印刷代	¥ 40,157	①11,000円+②16,170円	①紙代②印刷代（パパ手帳通信特別号）
			③50円+④1,820円	③コピー代④写真代（パパ手帳通信特別号）
			⑤3,580円	⑤インク代（アンケート2回・チラシ）
			⑥493円+⑦1,050円	⑥紙代（アンケート）⑦紙代（チラシ）
			⑧5,294円+⑨700円	⑧紙代・文房具代⑨製版代（パパ手帳通信）
	4 保育料	¥ 21,250	2,125円*10回	ボランティアのお子様の保育に対する謝礼
対象となる経費合計額	¥ 84,606			
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 1,454	①534円+②920円	①講座お茶代+②ボランティアお茶代
	スタッフの交通費	¥ 10,080		電車代
	ボランティア活動保険	¥ 2,800	280円*10人	パパ手帳作成
	振込み手数料	¥ 105		パパ手帳通信特別号印刷代
	雑費	¥ 1,155		広報活動用
	その他経費合計額	¥ 15,594		
支出合計額	¥ 100,200			

第5号様式

松戸市協働事業報告書

平成24年3月23日

松戸市長

住所(所在地)松戸市新松戸4-257-1

ニューホームズ第一マンション1F

団体名 特定非営利活動法人

子どもの環境を守る会Jワールド

代表者氏名 理事長 三浦 輝江



平成23年3月25日付けで実施決定のあった松戸市協働事業に係る実績報告について、松戸市協働事業の実施に関する規則第13条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2
- 労力換算用作業日報 . . . 別紙3

活動状況報告書

1. 事業名称 ゲット・ユア・ドリーム事業
2. 実施主体
- 団体名： 特定非営利活動法人子どもの環境を守る会Jワールド
 - 事業担当課： 子育て支援課

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

- ①ワークショップ等の企画・準備
- ②チラシ等の広報物の作成
- ③参加した子どもたちのフォローアップ

■ 担当課の役割

- ①協働事業を進める上での弊団体に対する指導・助言
- ②学校その他を含めた活動報告の協力
- ③会場の選択や提供

4. 事業の内容

※ 実施した事業内容について、事業毎に整理した上で記載してください。

I チラシポスター作成・配布（PR活動）

日付	作業内容
4月	チラシ・ポスター作成
5月4日	チラシ・ポスター完成
5月5日～	チラシ・ポスター配布（他団体3箇所含む）
5月13日	高校7校訪問配布
6月23.24日	5月28日の活動報告3高校訪問
7月～	新松戸駅前等チラシ配布
7月16日	新松戸祭でチラシ配布
10月	チラシ配布

II ミニフォーラムの実施

日付	作業内容
4月4日～5月27日	企画準備、人員調整
5月28日	ミニフォーラム開催
6月4日	反省会・手紙作成
6月8日	子育て支援課との振り返り

Ⅲ ワークショップの実施

日付	作業内容
6月8日	子育て支援課とワークショップ①の企画打ち合わせ
6月16日～7月22日	ワークショップ①の企画打ち合わせ及び講師依頼調整打ち合わせ
7月23日	ワークショップ①実施
7月25日～11月22日	反省会・ワークショップ②打ち合わせ
11月23日	ワークショップ②実施
12月7日	ワークショップ②反省
12月9日	子育て支援課とワークショップ②の反省と今後の打ち合わせ

Ⅳ PRライブの実施

日付	作業内容
4月9日～7月16日	新松戸祭実行委員と打ち合わせ・調整
7月～	PRライブ準備
7月16日	PRライブ実施

Ⅴ 活動報告パンフレット作成・配布の実施

日付	作業内容
12月16日～2月	活動報告パンフレット作成の打ち合わせ及び資料提供・校正
3月	パンフレット完成・配布

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

①参加者：目標の50名にはいたらなかったが、大会、テストと行事に挟まれながらも、ミニフォーラム（第1弾）20名・ワークショップ①（第2弾）20名・ワークショップ②（第3弾）23名と各受講者数を維持することができた。継続受講者も半数を越え、内容も中高生の興味関心ごとにマッチしたと思われる。

参考：総参加者数31名中、3回連続受講者12名（40%）・2回参加8名（27%）・1回のみ参加11名（33%）、（第2弾新規6名・第3弾新規5名）

②講師の話を聞くだけでなく、中高生が受け取ったことを話し合い意見交換する機会を作ったことで、自分の考えを話し、同世代の考えていることを受け、生き生きと交流していた。「仕事紹介」だけでなく興味や自分の思っていることが将来につながっていることを発見するきっかけとなった。（各アンケート資料参考）

③3回の企画を通して、ユーススペースへ6名つながり、ユーススペースの企画に参加した。平均利用者数10.5名となり、目標数値10名を上回った。（平成24年2月末数値）

④チラシ・ポスターを3企画合同に変更し、作成枚数を増やして松戸市内の中学校・高校1・

2年生対象にチラシとポスターを配布した。学校経由での参加の申込はなかった。学校側の理解を得ることと、チラシからの周知は難しいことが判明。今後、課題として残る。

PRライブで出会った高校生2名が結果として参加した。

高校への訪問を行い2校が興味関心を持っていただき、今後の足がかりになった。

講師の方々にご協力いただいたことにより、講師の方々の方も自分の体験が中高生に影響を与えていることを実体験し、今後の協力もその場で申し出てくださった方が多かった。事業の支援者を得ることができ、感謝でした。

(2) 取り組んだ課題の現状について

《様々な職業や経歴の大人の人と対等に話ができる交流の場を作ること》

3回の企画において、それぞれの交流の場を試験的に提供した。

①毎回グループタイムを作り、年代の近い大人（Jワールドスタッフ）がファシリテーターを勤め、雑談的に身近な感覚で交流する場。

②小グループで講師の個人の経験、悩み、発展を聞く機会と共に、その場で質疑応答をし、グループ内が同じ目線で交流する場。

③メインスピーカーを招き講壇より話を聞き、質問する機会を提供し、最後にサイン会を通して交流する場。

第3弾のアンケート結果より、どの企画も、自分の将来について考えるきっかけとなったことが分かる。講師の方々からも、「中高生に学ばされた。励まされた。」とあるように、3方良しの交流ができた。

《多様な価値観に触れ、自ら発言する機会を提供する》

大人と中高生が交流し、グループタイムでテーマを持ってより具体的に意見交換し、グループでまとめて発表の機会を提供することによって、様々な生き方、考え方、また、自分と他者との同じところ、違うところを認め合いながら、自分達の考えをまとめて発表した。彼らの個性が発表にも現れ、良い時間となった。

第3弾アンケート結果からも、ほとんどの参加者がグループタイムで意見交換したときに自分の将来について考えることができたと答えた。自分と違う考え、意見の交換、人生の先輩からの励ましもあり、そこから自分が受け取ったことがあったことがわかる。

しかし、《多くの中高生へ提供する》事は難しかった。学校の理解を得ること、また協力体制がないことから、ちらしが生徒に届いていない等が判明した。

また、子どもモニターとユーススペース来会者以外の参加者は5名（広報1名、親2名、ライブ2名）と想定よりも少なかった。今後、どのように拡げていくかが課題である。

6. 今後の事業展開

*本年度参加者が来年度も参加できる体制を作り、彼らから発信し友達を誘う。

*松戸市内の生徒全員にチラシを配らせていただく。

松戸市の中学・高校を訪問し、事業説明と活動報告をし、事業の理解を得て、協力をお願いしていく。

* 学校や市民団体との連携した支援を生み出していく

事業の理解を得て、学校側や他団体等の意見もいただき、中高生世代の連携した支援を生み出していく。

* 高校1校をモニターとして協力いただき、学校内でワークショップを開催し、事業内容を体験し、理解をしていただく。成果を松戸市内の学校・教職者に発信し、本事業への関心を持っていただくきっかけとしたい。

* 本年度は、地域で活躍されている大人の方が理解支援者になっていただいたことから、より多くの大人の方々の賛同を得、幅広い交流ができる協力体制を生み出していく。

* 一過性のイベントではなく、中高生と持続的な関わりを持つ事で、夢を実現化していき、松戸市の将来を担う若者を生み出していきたい。

収支決算書

【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	寄付金	¥ 122,900	¥ 61,889	¥ -61,011	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 122,900	¥ 61,889	¥ -61,011	/
	労力換算額 (b)	¥ 540,000	¥ 180,250	¥ -359,750	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 472,000	¥ 196,000	¥ 276,000	精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 594,900	¥ 257,889		/

【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の 交付対象経費	ちらし・ポスター作成費	¥ 44,000	¥ 37,890	¥ 6,110	
	フォーラム費	¥ 66,000	¥ 33,604	¥ 32,396	
	ワークショップ費	¥ 172,000	¥ 66,209	¥ 105,791	
	PRライブ費	¥ 117,000	¥ -	¥ 117,000	
	パンフレット作成	¥ 100,000	¥ 67,500	¥ 32,500	
	通信費	¥ 4,000	¥ 7,070	¥ -3,070	
	保険費	¥ 22,400	¥ 5,600	¥ 16,800	
		対象となる経費合計額 (e)	¥ 525,400	¥ 217,873	¥ 307,527
その他 経費	講師・スタッフ弁当代	¥ 20,000	¥ 12,500	¥ 7,500	
	スタッフ交通費	¥ 12,000	¥ 16,526	¥ -4,526	
	PR用スタッフTシャツ	¥ 37,500	¥ 10,990	¥ 26,510	
	その他経費合計額 (f)	¥ 69,500	¥ 40,016	¥ 29,484	/
	事業費 (g) (e+f)	¥ 594,900	¥ 257,889	¥ 337,011	/

【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。

精算額	¥	276,000
-----	---	---------

団体名 特定非営利活動子どもの環
 境を守る会Jワールド
 代表者氏名 理事長 三浦 輝江



収支内訳書

【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
自己資金	¥ 61,889	寄付金	
自己資金合計額	¥ 61,889		
市負担金額	¥ 196,000		
収入合計額	¥ 257,889		

【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の交付対象経費	1 チラシ・ポスター作成費	¥ 37,890	ちらし17100部・ポスター80部	共通カラーチラシ17000部、11月23日分チラシ100部
	2 フォーラム費	¥ 33,604		講師謝礼4名分、消耗品費、参加者用菓子代
	3 ワークショップ費	¥ 66,209		講師謝礼7名分、消耗品費、参加者用菓子代
	4 PRライブ経費	¥ -		新松戸まつりの備品を借りて行えた為経費無。
	5 パンフレット作成費	¥ 67,500		3000枚
	6 通信費	¥ 7,070		チラシ送付4件、参加者へのレスポンス31件、活動報告パンフレット送付35件
	7 保険費	¥ 5,600		フォーラム、ワークショップ2回、PRライブ
	対象となる経費合計額	¥ 217,873		
その他経費	スタッフ弁当代	¥ 12,500		昼食代 26人*500円（3回分）
	スタッフの交通費	¥ 16,526		交通費 300円*21人+ガソリン代（3回ワークショップ分）、その他打合せ
	PR用スタッフTシャツ	¥ 10,990		14枚作成
	その他経費合計額	¥ 40,016		
支出合計額	¥ 257,889			



松戸市協働事業報告書

平成24年3月30日

松戸市長

住所 松戸市稔台7丁目7番地13(株)ダイエックス内

団体名 NPO法人松戸エコマネー「アウル」の会

代表者氏名 理事長 戸田栄造



平成23年3月25日付けで実施決定のあった松戸市協働事業に係る実績報告について、松戸市協働事業の実施に関する規則第13条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2
- 労力換算用作業日報 . . . 別紙3

活動状況報告書

1. 事業名称 家庭用廃食用油の回収による地域活性化

2. 実施主体

■ 団体名： 松戸エコマナー「アウル」の会

■ 事業担当課： 環境計画課、商工観光課、

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

① 廃食用油回収拠点、アウル券利用協賛店の獲得

② PR資料等の作成、掲示、配布

③ スクールガード、、駅前清掃等へのアウル券の配布

④ 小金原健考館での廃食用油回収事業の継続

⑤ 新規スクールガード、美化、環境関連協力ボランティアへの参加働きかけ

■ 担当課の役割

※ 担当課が実施したことを記載してください。

① 環境計画課 「広報まつど」への活動紹介記事の掲載

② 商工観光課 商店街等への事業PRのバックアップ

4. 事業の内容

※ 実施した事業内容について、事業毎に整理した上で記載してください。

回収拠点、アウル券利用協賛店の獲得と巡回、回収用具類の配布。

日付	作業内容
4/17、4/30、5/7、5/28、 12/15、12/17、3/16	五香地区（西口商店街、東口商店街）訪問 はたや商店、松久、佐藤ベーカリー
4/3、5/27、9/8、10/21、1/10	小金原地区訪問
6/4、6/22、7/19、8/6、9/9、 10/7、12/9	北松戸地区（3店舗）訪問
5/16、6/21、6/24、8/2	稔台商店会訪問
8/2、11/17	本町地区他訪問（峰月、松浦住宅、ミヤマ建設）
8/17、11/27、3/16	松戸新田地区（万世食品、元気もりもり、花創作高原、 すえひろ、末広屋）訪問
5/31、6/4、7/7、7/19、8/6、 8/17、9/9、10/7、11/15、 11/27、12/6、12/9、1/16、	協賛店（薬膳カレー秋月、ポナペチート）訪問、
6/13、8/2、9/13	回収拠点用ノボリ、回収缶セット、用具類の配布
2/26	久我インテリアにて常盤平西窪町町会として廃食用油回収 の取り組みの動きがあり、仕組みについて説明をした。

3/23	松戸市協働推進課、環境計画課と久我インテリア（西窪町町会役員）及び戸田建設 BDF プラント訪問

回収拠点、アウル券利用協賛店および町会等の PR 資料の作成

日付	作業内容
4/10、4/16、5/25、6/3	10 アウル券のデザイン作成、印刷業者への発注、検収、ナンバーリング作業
4/10、4/11、7/2、7/6、8/4、8/23	PR ポスター企画・作成（五香、小金原、八ヶ崎地区、一般） 三つ折りパンフの企画・作成
7/25、9/24、9/27	回収拠点、協賛店表示ステッカー（ラミネート）の企画・作成
8/22、10/15	回収拠点、協賛店ノボリデザイン作成・発注
7/13、7/20、7/27、7/29	八ヶ崎、小金原八丁目掲示ポスターの印刷
10/6、10/7	五香地区掲示ポスターの印刷

広報活動

日付	作業内容
5/7、5/11、5/12、5/16 5/18、5/20	廃食用油回収 PR 用 会報 19 号の企画・編集
10/12、10/13、10/31、11/9、 11/12、11/16、11/28、12/6、 1/23、1/27	廃食用油回収 PR 用 会報 20 号の企画・編集 増刷
9/23	広報まつど 10 月 15 日号掲載打合わせ、原稿作成
7/22	地域新聞 9 月 2 日号掲載の取材対応
9/23、10/30	第 7 回馬橋地区「ふれあい広場」に出展及び打合わせ会議
9/28、10/1、10/2	第 38 回消費生活展に出展及び打合わせ会議
2/11、2/18、2/25、3/10	第 9 回 NPO 見本市、キャラバン見本市に出展

町会、各戸への PR とスクールガードへの接触

日付	作業内容
7/14、7/15、7/21、7/25、 7/31	廃食用油回収の PR ポスター掲示依頼（小金原、八ヶ崎地区）
7/3、7/21、7/31	八ヶ崎地区スクールガードへのアウル券配布依頼。
10/9	五香地区町会長にポスター掲示依頼
1/29、1/30	PR 用資料各戸配布（五香 3、7、8 丁目、六高台 8、9 丁目）

小金原健考館での廃食用油回収

日付	作業内容
4/8、4/22、5/13、5/27、6/10、 6/24、7/7、7/228/12、8/26、 9/9、9/23、10/14、10/28、 11/11 11/2512/912/23、1/13、1/27 2/10、2/24、3/9、3/23	廃食用油の回収とアウル券の配布、活動のPR (第2、第4金曜日 13.00~16.00まで分担して回収)

三者会議

日付	作業内容
8/17	中間振り返り
2/28	終了前打ち合わせ

定例役員会

日付	作業内容
4/3、4/24、5/22、6/26、7/24、 8/21、9/23、10/30、11/27 12/25、1/27、2/26、3/25	毎月第3日曜日を定例に開催。23年度協働事業の進め方について、その都度討議して、結論を実行する。

5. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した成果目標が、どの程度達成されたのかを記載してください。

① 目標 回収拠点の新規設立 6店舗

廃食用油回収 23年度 2000L

実績 回収拠点 11店舗 アウル券利用協賛店 38店舗

廃食用油回収実績(24年3月末現在)605L

内訳 小金原健考館 371.5L、松久 64L、松川産業 28L、ミヤマ建設 34L
八矢庵 32L はたや商店 23L スエヒロ 12L、花創作高原 7L
山崎家具センター9L、丸協 14L、峰月 10.5L

アウル券の配布枚数は500ccで10アウル券1枚としている。

10アウル券配布実績(24年3月末現在)685枚

内訳 小金原健考館 534枚、はたや商店 38枚、松久 39枚
スエヒロ 8枚、花創作高原 13枚、丸協 28枚、峰月 7枚
山崎家具センター18枚

②目標 スクールガード等協力ボランティアの新規獲得(スクールガード 6地区)

実績 スクールガード協力ボランティアは五香新町町会が10月より取組み開始
1ヶ月に10日活動(1日4名) 40枚/月 6ヶ月×40枚=240枚

22年度より実施の八ヶ崎地区スクールガードへの23年度配布枚数1130枚
「メイク松戸ビューティフル」の駅前清掃 23年度配布枚数360枚

(2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったことを記載してください。

①回収拠点、アウル券利用協賛店について

回収拠点として11店舗が確保できたが、周辺市民へPRがまだ不十分で回収拠点が、十分に市民に周知できていない。しかし11店舗すべてで廃食用油の回収実績が出来てきた。今後の拡大に期待したい。

協賛店は38店舗あるが、そこでのアウル券の利用は4店舗に留まっている。

その他のアウル協賛店では使用実績がまだなかった。

協賛店でのアウル券利用実績(24年3月末現在)66枚

内訳:肉のたむら15枚、八島うどん7枚、東龍30枚 松久14枚

②スクールガード、新規協力ボランティア団体の獲得

今年度は新規のスクールガードは五香新町町会の1町会のみであった。

新規協力ボランティア団体の獲得は出来なかった。

常盤平西窪町で町会として廃食用油回収に取り組む意向があり仕組みの説明を行った。

まちづくり、環境美化等のボランティア団体への接触が出来なかった。

③回収拠点、アウル利用協賛店、協力町会との報告会

個人商店であり、うまく時間のアレンジができず、一同に会することができなかった。

個別に巡回して、意見や要望を把握して運営に反映する必要がある。

そのためにも報告会に代わるコミュニケーションのツールを検討したい。

今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開してゆきたいのかを記載してください。

- ① 廃食用油の回収量については目標を達成できなかったが、新規回収拠点すべてで、回収の実績が出てきており、その地域市民へのPRを繰り返し行うことにより時間の経過とともに回収量は必ず増加すると推察する。(小金原健考館の実績から見て)回収拠点周辺の町会へのPR活動をさらに徹底強化する。
- ②回収拠点の網の目が粗い。とくに北小金、馬橋地区に回収拠点を新規に獲得したい。
- ③アウル券の利用の促進を図る。協賛店の密度を高め、使いやすい環境を整備する。
そのためにも商店街ぐるみでこの事業に賛同してくれる商店街を商工観光課と協働で獲得していきたい。
- ④新規に協力ボランティアを獲得する。
スクールガード、環境関連ボランティアに活動の内容をPRして参加を要請する。
- ⑤広報活動の強化
広報まつどへの繰り返し掲載。 地域新聞、地域テレビでの報道依頼

23年度 収支決算書

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	会費	¥ 100,000	¥ 80,000	¥ -20,000	40名として
	予備費より		¥ 3,049	¥ 3,049	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 100,000	¥ 83,049	¥ -16,951	
	労力換算額 (b)	¥ 500,000	¥ 354,750	¥ -145,250	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 500,000	¥ 378,438	¥ 121,562	精算額
	資金合計額 (d) (a+c)	¥ 600,000	¥ 461,487		

【事業費の支出額 (支出)】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の交付対象経費	廃食用油回収用備品・ノボリ等	¥ 180,000	¥ 66,510	¥ 113,490	
	活動資料類の作成			¥ -	
	PRチラシ類	¥ 250,000	¥ 264,386	¥ -14,386	
	協賛店等資料作成	¥ 15,000	¥ 21,551	¥ -6,551	
	アウル通貨の印刷	¥ 100,000	¥ 68,040	¥ 31,960	
				¥ -	
				¥ -	
	調査交流費	¥ 20,000	¥ -	¥ 20,000	
		対象となる経費合計額 (e)	¥ 565,000	¥ 420,487	¥ 144,513
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 15,000	¥ -	¥ 15,000	
	スタッフの交通費	¥ 20,000	¥ 41,000	¥ -21,000	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (f)	¥ 35,000	¥ 41,000	¥ -6,000	
	事業費(g) (e+f)	¥ 600,000	¥ 461,487	¥ 138,513	

【負担金額(C)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。

精算額	¥ 121,562
-----	-----------

団体名 松戸エコマネー「アウル」の会
 代表者氏名 戸田栄造



収支内訳書

【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
会費	¥ 80,000		会員会費 40名として
予備費	¥ 3,049	✓	
自己資金合計額	¥ 83,049		
市負担金額	¥ 378,438	✓	
収入合計額	¥ 461,487		

【事業費の支出額（支出）】

項目	決算額	支出内訳	説明事項（用途など）
負担金の交付対象経費	1 廃食用油回収用備品・ノボリ等	¥ 66,510	✓ 1-①~1-④
	活動資料類の作成		
	2 PRチラシ類	¥ 264,386	✓ 2-①~2-⑯
	3 協賛店等資料作成	¥ 21,551	✓ 3-①~3-⑯
	4 アウル通貨の印刷	¥ 68,040	4
	調査交流費	¥ -	
	対象となる経費合計額	¥ 420,487	
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ -	
	スタッフの交通費	¥ 41,000	
		¥ -	
	その他経費合計額	¥ 41,000	
支出合計額	¥ 461,487		

松戸市協働事業報告書

平成24年3月15日

松戸市長 本郷谷 健次 様

住所(所在地) 〒270-0001 松戸市幸田 4-8

団体名 まつど生ごみ資源化の会

代表者氏名 平田 熙



平成23年3月25日付けで実施決定のあった松戸市協働事業に係る実績報告について、松戸市協働事業の実施に関する規則第13条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2
- 労力換算用作業日報 . . . 別紙3

活動状況報告書

1. 事業名称 家庭生ごみ堆肥づくり事業

2. 実施主体

■ 団体名： まつど生ごみ資源化の会

■ 事業担当課： 環境計画課・環境業務課

3. 事業を実施する上での役割分担

■ 団体の役割

- (1) 10世帯分の家庭生ごみを収集して堆肥づくりを行います。
- (2) 出来た完熟堆肥を用いて、野菜と花卉を栽培します。
- (3) 堆肥化マニュアル(素案)を作ります。

■ 担当課の役割

- (1) 市民活動のPRを行います。

4. 事業の内容

I. 堆肥化作業打ち合わせ会議

月日	作業内容
平成23年4月4日	協働事業チームの立上げ
4月20日	パイプビニールハウスの発注について
5月9日	パイプビニールハウスの組み立て日程、協力世帯の確認
6月6日	ビニール張りの日程、床土の購入・収集方法について
7月4日	生ごみ収集・堆肥づくりの状況
8月8日	協働事業中間ふりかえり会議(市役所にて)
9月5日	栽培試験圃場について
10月3日	栽培試験の試験区、栽培植物、施用量について
11月7日	生ごみ収集・堆肥づくりの状況、栽培試験結果の中間報告
12月5日	堆肥づくりの状況、協働事業報告書(案)について
平成24年1月9日	協働事業報告書(案)について
2月6日	協働事業報告書(案)について
2月13日	協働事業ふりかえり会議(市役所にて)
3月5日	協働事業報告書の取りまとめ /

II. 作業場の設置維持・床材準備作業

月日	作業内容
平成23年5月8日	パイプビニールハウス資材の入荷
5月9日	パイプビニールハウス資材の運搬方法、地権者との打ち合わせ

5月25～26日	パイプビニールハウスの運搬、ハウスの組み立て
5月27日	作業用資材の引越し準備
6月3日	作業用資材の引越し
6月7～13日	ハウスのビニール張り、遮光ネット張り、床材の仕込み、切り返し
6月15日	床材の計量・分配
6月21日	作業場のカラス対策
6月23日	モミガラ の調達
6月27日	床材袋詰め
6月29日	床材仕込み、切り返し
7月3日	床材切り返し
7月6日	床材仕上がり (240 リットル)
7月26日	作業場草取り
8月1日	米ヌカ購入
8月23日	事業担当課と作業場の状況確認
8月30日	作業場の台風対策
9月5日	作業場の台風後始末
9月6日	EM ボカシ、米ヌカ仕込み
9月9日	作業場床のビニール替え
9月12日	作業場草取り
9月19日	落ち葉拾い
9月22日	作業場の台風後始末
10月17日	床材仕込み (60 リットル)
10月20日～28日	床材切り返し
11月4日	床材袋詰め
11月9日	床材仕込み (150 リットル)
11月11日～16日	床材切り返し
11月27日	床材小分け
12月13日	床材 (モミガラ) の調達
12月22日	床材小分け

Ⅲ、生ごみ収集・一次処理・二次処理作業

月 日	作業内容
平成23年6月17日	生ごみ収集
6月19日	一次処理 (切り返し)
6月21日	生ごみ収集、一次処理 (切り返し)
6月22日	一次処理 (切り返し)
6月24日	生ごみ収集、一次処理 (切り返し)
6月25日、27日	一次処理 (切り返し)

6月28日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
6月29日	一次処理（切り返し）
7月1日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
7月3日	一次処理（切り返し）
7月5日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
7月6日	一次処理（切り返し）
7月8日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
7月10日	一次処理（切り返し）
7月12日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
7月14日	一次処理（切り返し）
7月15日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
7月17日	一次処理（切り返し）
7月19日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
7月20日	一次処理（切り返し）、二次処理仕込み
7月22日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
7月24日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
7月26日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
7月27日	二次処理（切り返し）
7月29日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
7月31日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
8月2日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
8月3日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
8月5日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
8月7日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
8月9日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
8月11日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
8月12日、13日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
8月14日	一次処理（切り返し）
8月15日	生ごみ収集
8月16日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
8月17日	一次処理（切り返し）
8月19日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
8月21日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
8月23日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
8月24日	一次処理（中間処理、150リットル）
8月27日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
8月28日	一次処理（切り返し）
8月30日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）

8月31日	一次処理（切り返し）
9月6日	二次処理（仕込み）
9月9日	生ごみ収集、二次処理（切り返し）
9月11日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
9月14日	生ごみ収集・一次処理（切り返し）
9月15日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
9月16日	一次処理（切り返し）
9月19日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
9月20日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
9月21日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
9月23日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
9月27日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
9月28日	一次処理（切り返し）
9月30日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
10月2日	一次処理（切り返し）
10月4日	生ごみ収集
10月5日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
10月7日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
10月9日	一次処理（切り返し）
10月11日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
10月12日	一次処理（切り返し）
10月14日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
10月17日	一次処理（切り返し）
10月18日、20日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
10月21日	生ごみ収集
10月23日	一次処理（切り返し）
10月25日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
10月27日	一次処理（切り返し）
10月28日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
11月1日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
11月2日	一次処理（切り返し）
11月4日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
11月6日	一次処理（切り返し）
11月8日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
11月9日	一次処理（切り返し）、二次処理（仕込み、150リットル）
11月11日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
11月13日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
11月15日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）

11月16日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
11月18日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
11月20日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
11月22日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
11月25日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
11月27日	一次処理（切り返し）
11月29日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
11月30日	熟成堆肥の整理
12月1日	一次処理（切り返し）
12月4日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
12月5日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
12月6日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
12月8日	一次処理（切り返し）
12月11日	一次処理（切り返し）
12月14日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
12月16日	一次処理（切り返し）、熟成堆肥切り返し
12月18日	一次処理（切り返し）
12月20日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
12月22日	一次処理（切り返し）
12月25日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
12月27日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
12月29日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
平成24年1月5日	一次処理（切り返し）
1月10日	生ごみ収集
1月14日	一次処理（切り返し）、二次処理（仕込み）
1月15日	二次処理（切り返し）
1月17日	生ごみ収集、二次処理（切り返し）
1月21日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
1月24日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
1月27日	生ごみ収集
1月28日	一次処理（切り返し）、熟成堆肥（200リットル）
1月31日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）
2月7日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（仕込み）
2月11日	二次処理（切り返し）
2月14日	生ごみ収集、一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）
2月16日	一次処理（切り返し）、二次処理（切り返し）

IV. 野菜・花卉の栽培

月日	作業内容
平成23年9月6日	地権者へ試験圃場について説明
9月12日	試験圃場の整備（耕起、試験区、酸度矯正）
9月23日	試験区への堆肥施用
9月25日	試験区への化学肥料施用
10月4日	コマツナ播種（発芽は10月9日）
10月27日	花苗（パンジー）植え付け、花（アリッサム）播種
11月4日	コマツナ収穫、生育写真、収量測定
11月30日	アリッサムを鉢へ移植
平成24年2月16日	花卉栽培試験を継続

5. 事業成果について

(1) 目標の達成状況について

① 生ごみ収集量と出来た堆肥の量

I. 生ごみの月別収集量

1. 生ごみの収集量

収集月	収集量 (kg)
平成23年6月	56.0
7月	130.0
8月	136.5
9月	84.0
10月	100.5
11月	118.0
12月	122.3
平成24年1月	108.2
2月	41.0
合計	896.5

備考：1) 生ごみ収集開始は6月17日、終了は2月16日

2) 収集量には床材重量(94.4kg)を含む

3) 収集量は10世帯分

2. 収集した生ごみの量

(1) 床材の使用量を差し引いた実質生ごみの量は、8カ月で802.1kgであった。

(2) 1世帯から発生する1カ月の生ごみ量は、おおよそ10キログラムであった。また、1日あたりにすると1世帯330gであった。

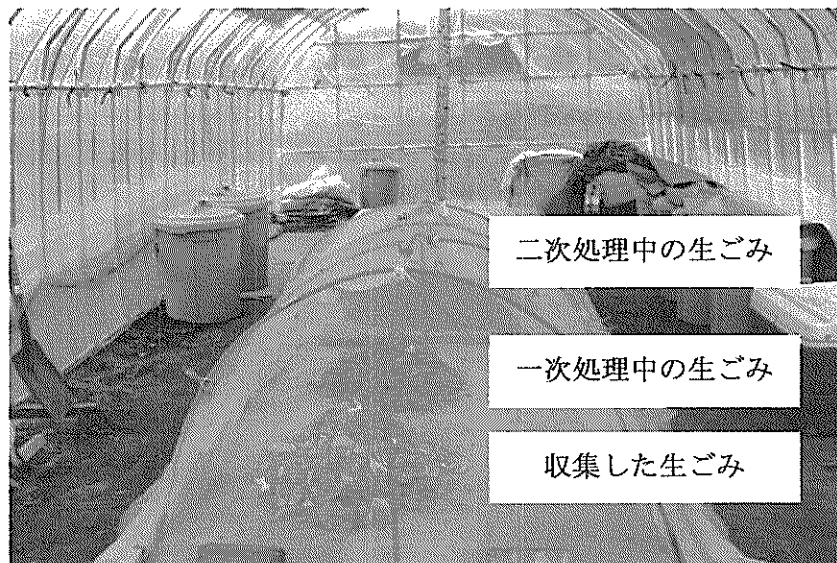
(3) 松戸市は約 21 万世帯なので、年間にすると 25,200 トンの生ごみを収集したことになる。

II. 出来た堆肥の量

用いた生ごみ量	出来た完熟堆肥量
約 320kg (6~8 月収集分)	約 74kg (約 300 リットル)
約 120kg (9~10 月収集分)	約 34kg (約 136 リットル)
約 200kg (10~12 月収集分)	約 50kg (約 200 リットル)
小計：約 640 kg	小計：約 158kg
約 180kg (12~1 月収集分)	二次処理中
約 80kg (1~2 月収集分)	二次処理中

(1) 用いた生ごみ量の約 25%が完熟堆肥となった。

(2) 栽培試験に使用した完熟堆肥は 12kg (約 50 リットル)である。保存堆肥が十分にあるので次年度予定の春作物栽培に利用出来る。



堆肥づくりの様子

III. ハウス内、床材、処理中の堆肥の放射線量および出来た堆肥の放射線量と放射能

測定箇所	放射線量(マイクロヘルム/時)	放射能 ¹ (ベクレル/kg)	放射能 ² (ベクレル/kg)
ハウス内 (地表)	0.21~0.22	-	-
ハウス内 (地上 1m)	0.21~0.22	-	-
床材 (古い落ち葉)	0.38~0.40	-	-
床材 (新しい落ち葉)	0.29~0.33	-	-
床材 (モミガラ)	0.22~0.25	-	-
一次処理中の堆肥	0.20~0.23	-	-
二次処理中の堆肥	0.25~0.26	-	-
出来た堆肥	0.22~0.23	不検出	245

備考：1) 測定日は 12 月 27 日 (火)

- 2) 測定器はタウ技研 R-DAN たんぽぽ
- 3) 放射能¹ は放射性ヨウ素。放射能²は放射性セシウム(134+137)

- (1) 協働事業による「家庭生ごみ堆肥」については福島第一原子力発電所事故による放射能汚染が心配されるので、堆肥化作業場において放射線量の測定を実施した。
- (2) ハウス内の大気中の放射線量は 0.21~0.22 で、国の除染基準 0.23 より僅かに低い。
- (3) 床材は古い落ち葉で 0.38~0.40。新しい落ち葉で 0.29~0.33。モミガラで 0.22~0.25。
- (4) 一次処理中の堆肥は 0.20~0.23。二次処理中の堆肥は 0.25~0.26。出来た堆肥は 0.22~0.23。
- (5) 大気中の放射線量が高いため、出来た堆肥に含まれる放射エネルギーを「たんぽぽ舎放射能測定室」で測定した。その結果、放射性ヨウ素は不検出。放射性セシウムは 245 ベクレル/kgであった。
この値は食品の暫定基準の 500 ベクレル/kg以下であり、さらに、これから使用する新しい落ち葉の放射線量は、古い落ち葉より下がっているので安全基準内と判断している。

② 野菜と花卉の栽培試験

1. 試験区 (1 区画 1.35 m²)

(1) 野菜栽培の施用量

1. 化学肥料施用区 : 1kg(窒素、リン酸、カリ)/100 m²
2. 堆肥施用①区 : 200kg/100 m²
3. 堆肥施用②区 : 400kg/100 m²

(2) 花卉栽培の施用量

1. 化学肥料施用区 : 0.48kg(窒素、リン酸、カリ)/100 m²
2. 堆肥施用①区 : 100kg/100 m²
3. 堆肥施用②区 : 200kg/100 m²

2. 栽培植物

- (1) 野菜 : コマツナ (晩生小松菜、JAPANESE GREEN)
- (2) 花卉 : パンジー (市販の苗)、アリッサム (サカタ種苗)

3. 栽培方法

- (1) 野菜 : 種子量 3ml/区、播種日 10月4日
- (2) 花卉 : パンジー10株/区、アリッサム種子量 0.3ml/区。株植え・播種日 10月27日

4. 収穫日

- (1) 野菜 (コマツナ) : 11月4日
- (2) 花卉 (パンジー、アリッサム) : 次年度へ継続

4. 試験結果

(1) 野菜栽培

1) 収穫量 (1.35 m²あたりのグラム重)

区名	地上部(A)	地下部(B)	(A)/(B)比
化学肥料施用	3,100	115	27
堆肥施用①	3,510	110	31
堆肥施用②	4,000	135	29

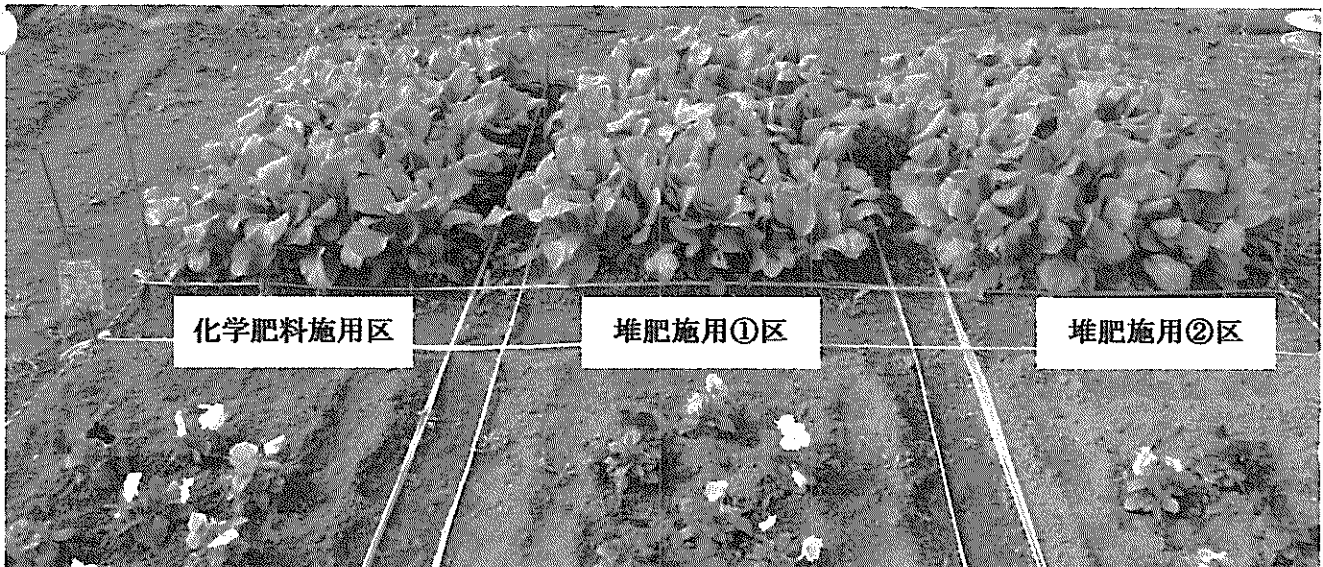
2) 品評

ア) 地上部の生育(茎葉長、幅)は、堆肥施用②>堆肥施用①>化学肥料施用

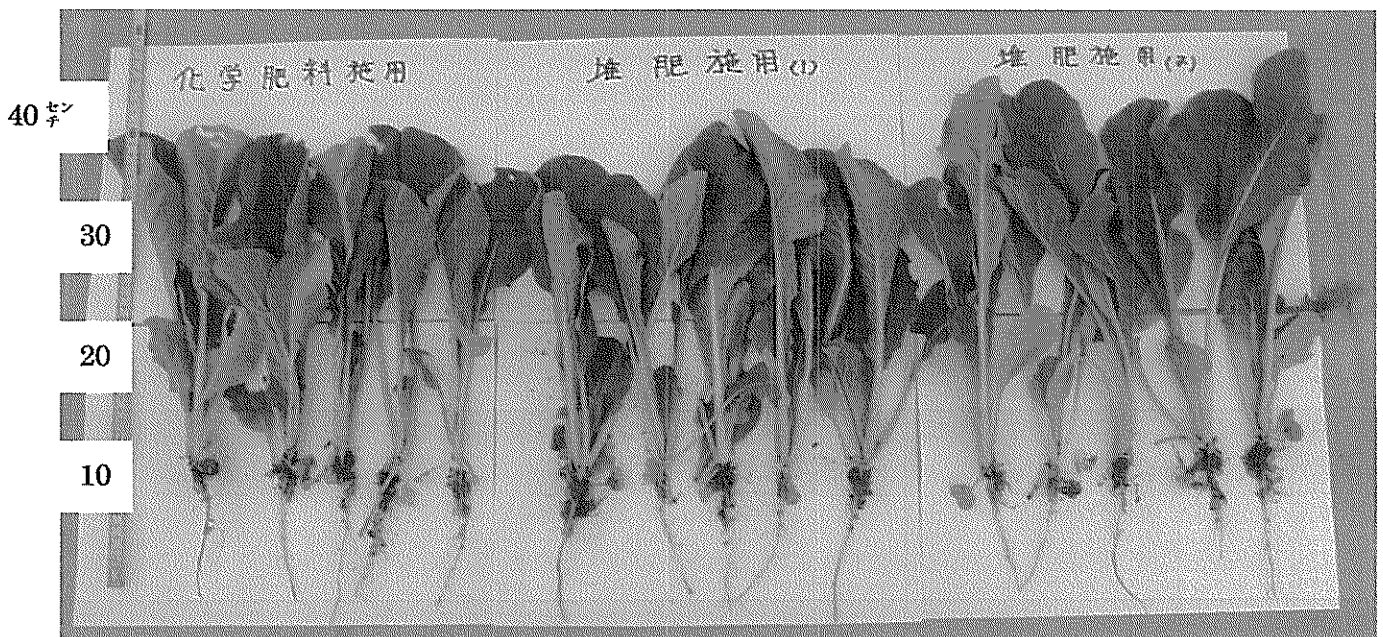
イ) 葉脈の明瞭さ・葉色の濃さは、堆肥施用②>堆肥施用①>化学肥料施用

ウ) 地下部の太さ・長さは、堆肥施用②>化学肥料施用>堆肥施用①

エ) 上記の結果から、コマツナは堆肥施用のみで十分に生育することが認められた。



収穫前の生育状況



生育調査

(2) 花卉栽培は次年度に継続。

③ 堆肥化マニュアル(素案)

家庭生ごみ堆肥づくり事業を通じて得られた堆肥づくりマニュアル(素案)は、以下のとおりである。

(1) 床材の準備

- 1) 床材の材料はモミガラ、米ヌカ、落ち葉で、それぞれモミガラ 8 : 米ヌカ 2 : 落ち葉 1 ~ 2 の割合で混合する。
- 2) 上記の材料を水分 50% 位に調整し、床材の温度が 50 ~ 60℃ になったら切り返す。
- 3) 2 日おきに切り返し、3 回位で発熱が収まれば、適度に乾燥させて完成。

(2) 生ごみの収集

収集の周期は、4 月 ~ 10 月期で週 2 回(腐敗限界のため)、11 月 ~ 3 月期は週 1 回。

(3) 生ごみの貯め方

- 1) 保存ケースに、床材を 2 センチぐらい敷く(腐敗防止と収集を容易にするため)。
- 2) 生ごみを入れる。
 - ア) カスの部分は調理前に濡らさないで分別すると良い。
 - イ) 出来るだけ 4 ~ 5 センチ位に小さく、水気をよく切る。
 - ウ) キャベツ、ブロッコリー、生のイモなどは芯を割く。
 - エ) 入れないでほしいものは、トリの骨、貝ガラ、栗の渋皮、切り花。家庭栽培後のクズは処理能力によっては入れても良い。
- 3) 床材をかける(生ごみが、まばらに隠れる程度に)。

(4) 一次処理(一次分解)

- 1) 収集した生ごみに発酵促進剤として、米ヌカを生ごみの 5 ~ 6% 加え山積みにする。24 時間以内に 40℃ 以上に上昇し、生ごみの分解が始まる。
- 2) 4 ~ 10 月期は 2 ~ 3 日おきに 3 ~ 4 回切り返し、1 週間放置して一次分解が完了(ハエ対策が必要)。
- 3) 11 ~ 3 月期は毛布をかけて保温し、4 ~ 5 日おきに 3 ~ 4 回切り返す。1 ~ 2 週間放置して一次分解が終了。

(5) 二次処理(二次分解)

- 1) 一次処理したものに 20% の米ヌカを加え、水分を 60% 位に調整し山積みにする(11 ~ 3 月期は毛布をかけて保温)。
- 2) 2 ~ 3 日後、60 ~ 70℃ になるので切り返す(温度は殺菌のため重要)。一回目の切り返しでは、山の外側の部分を山の内部に入れるように配慮する。
- 3) 水分を 60% 位に調整し、60 ~ 70℃ になったら再度切り返して水分を調整する。
- 4) 3 ~ 4 日おきに切り返し、発熱が見られなくなれば二次分解は終了。

(6) 熟成

- 1) 二次処理したものを、スタンドバック等に入れて熟成を待つ。熟成にはわずかな水分が必要なので、乾燥し過ぎないように管理する。

2) 期間中1~2回繰り返して換気し、堆肥は出来上がる。

(2) 課題の解決について

① 生ごみ収集方法について

- (1) 当初、収集の周期は年間を通じて週2回を計画していたが、収集地域と作業場が遠く、作業時間が長い課題があった。
- (2) そのため4~11月期は気温の影響で週2回の収集を減らすことが出来なかったが、12月からは週1回の収集で作業時間を短縮することが出来た。

② 堆肥作成手順について

- (1) 一次分解の発酵促進剤はEMボカシと米ヌカがあり、経験上EMボカシが良さそうだと作業を進めてきた。しかし、米ヌカはEMボカシより取り扱いが簡便で安価なので、1月から比較検討するために米ヌカに限定して作業をしている。
- (2) 一次分解の繰り返し周期は2~3日おきで行なったが、作業時間の短縮を図る必要がある。気温との関係および発酵促進剤を米ヌカにして4~5日おきの繰り返しが可能なのか検討を要する。

③ 栽培試験方法について

- (1) 野菜栽培において堆肥施用の効果が認められた。しかし、化学肥料施用区は全量元肥で行なったので、分肥(基肥、追肥)で堆肥施用と比較する必要がある。
- (2) 栽培が秋作物の1回のみとなり、時期を変えた栽培試験が必要である。
- (3) 出来た完熟堆肥の品質が把握できなかった。

3. 今後の事業展開

1. 生ごみ収集方法、堆肥作成手順の課題については、引き続き取り組んでいく。

2. 栽培試験方法について

- (1) 次年度は堆肥の品質(酸度、炭素率、窒素、リン酸、カリウム)を分析依頼して明らかにする。分析結果は各種作物栽培における適正な堆肥施用量の把握に役立つ。
- (2) 次年度は既に出来上がった完熟堆肥があるので、春、夏、秋、冬作物の栽培試験が可能となる。堆肥の施用量、施肥位置などを変えた栽培試験により、栽培マニュアル(素案)の作成に取り組む。

3. 堆肥化マニュアルについて

- (1) 「堆肥づくりマニュアル(素案)」の社会的な応用範囲、例えばベランダなどで出来るような汎用性を高めるために、作業場の面積を検討する。
- (2) また、処理方法を簡略化し手軽に堆肥づくりが出来るように、二次処理を省略して一次処理物を家庭菜園など畑への施用が可能なのか等、新たな課題に柔軟に取り組んでいきたい。

収支決算書

【社会資源持ち寄り（収入）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
提案者	協働事業費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -	
	諸経費	¥ 10,000	¥ 9,784	¥ -216	
	寄付金	¥ 2,000	¥ 2,000	¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 22,000	¥ 21,784	¥ -216	
	労力換算額 (b)	¥ 432,000	¥ 303,875	¥ -128,125	※別紙
市	負担金額 (c)	¥ 190,000	¥ 190,000	¥ 0 -	精算額
資金合計額 (d) (a+c)		¥ 212,000	¥ 211,784		

【事業費の支出額（支出）】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
負担金の 交付対象経費	作業場設置	¥ 130,000	¥ 132,730	¥ -2,730	
	保存容器	¥ 32,000	¥ 37,992	¥ -5,992	
	作業用資材	¥ 40,000	¥ 39,062	¥ 938	
	床材、発酵促進資材	¥ 10,000	¥ 2,000	¥ 8,000	
対象となる経費合計額 (e)		¥ 212,000	¥ 211,784	¥ 216 -	
その他 経費					
	その他経費合計額 (f)				
事業費 (g) (e+f)		¥ 212,000	¥ 211,784	¥ 216 -	

【負担金額(c)チェック項目】

- 1 対象となる経費(e)欄の90%以内
- 2 自己資金(a)欄に労力換算額(b)欄を加えた額以下であること。
- 3 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 4 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額 ¥ 0 -
--

団体名 まつど生ごみ資源化の会

代表者氏名 平田 熙



収支内訳書

【社会資源持ち寄り（収入）】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
協働事業費	¥ 10,000		予算計上
諸経費	¥ 9,784		予算計上
寄付金	¥ 2,000		
自己資金合計額	¥ 21,784		
市負担金額	¥ 190,000		
収入合計額	¥ 211,784		

【事業費の支出額】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
負担金の 交付対象 経費	1 作業場設置	¥ 132,730	設置資材一式	パイプハウス、ビニールシートほか
	2 保存容器等	¥ 37,992	容器一式	生ごみ運搬用箱、堆肥保存箱、保存バケツ
	3 作業用資材	¥ 39,062	パレット、切り返し箱、シートほか	堆肥づくりに必要な消耗品
	4 床材、発酵促進剤等	¥ 2,000	モミガラ、米ヌカ、赤土ほか	
	対象となる経費合計額	¥ 211,784		
その他 経費				
支出合計額	¥ 211,784			